

前項ノ準備科目ハ左ノ三種トス

第一種 豫メ試験ニ依リ合格スルコトヲ要スルモノ

第二種 豫メ修學ヲ終ルコトヲ要スルモノ

第三種 豫メ修學ヲ終ルカ又ハ同時ニ修學スルコトヲ要スルモノ

第八條 學生ハ其ノ修メントスル科目ヲ當該科目授業開始前ニ擔任教官ニ申出テ承認ヲ受クヘシ

第九條 實驗、實習、製圖其ノ他授業上定員ノ制限ヲ要スル科目ニ對シ志望者數定員ヲ超過スルトキハ當該擔任教官ノ報告ニ依リ學部長教授會ニ諮リ修學者ヲ選抜決定ス但シ志望者中當該科目ヲ第十條ノ試験科目トナス者定員ト同數ナル時ハ本條ノ手續ニヨラス擔任教官ニ於テ之ヲ優先承認ス
前項ノ定員數ハ豫メ教授會ニ於テ之ヲ決定ス變更ノ場合亦同シ

第十條 前條ノ科目ニ於テ學期ノ中途生シタル缺員ニ對シ補充スル場合ハ之ヲ公表シ志望者ノ申出ニ依リ更ニ前條ノ規定ニ準シ補充者ヲ決定ス

第十一條 學生ノ在學期間ハ六年ヲ超ルコトヲ許サス但シ休學シタル期間ハ之ヲ算入セス

第三章 科目試験

第十二條 學生修學セル科目ニ就キ試験ヲ受ケントスルトキハ第一學期ニ於テハ十月十一日迄ニ第二

學期ニ於テハ三月一日迄ニ擔任教官ニ申出ツヘシ

第十三條 試験ハ十月十八日ヨリ十月三十一日迄及三月十一日ヨリ三月二十八日迄ノ間ニ於テ之ヲ行

フ但シ場合ニ依リ本條ノ期間以外ニ於テ之ヲ行フコトアルヘシ

第十四條 各科目ニ就テノ合格、不合格ハ試験ノ成績ニ依リ之ヲ決定ス但シ擔任教官ノ見込ミニ依リ平素ノ成績考査ヲ以テ試験ニ代用スルコトアルヘシ

第十五條 合格シタル科目ニ對シテハ希望ニ依リ證明書ヲ與フルコトアルヘシ

第四章 學士試験

第十六條 大學令第十條ニ依リ學士ノ稱號ヲ得ントスル者ノ爲ニ學士試験ヲ行フ

第十七條 學士試験ヲ分チテ科目試験及論文試験トス

第十八條 前條ノ科目試験トハ別表第二ノ學科別ノ一ニ屬スル全試験科目ニツキ第三章ノ規定ニ依リテ行フ試験ヲ云フ

第十九條 論文試験ハ一定ノ問題ニ就キ作製セル論文、報告、計畫等ノ審査及口頭試問ヲ以テ之ヲ行フ

前項ノ問題ハ豫メ所屬學科教授ノ承認ヲ受クルコトヲ要ス

第二十條 論文試験ハ第十八條ニ依ル科目試験ニ合格シ且ツ別ニ定ムル所ノ學外演習及見學ヲ終了シタル後ニ非サレハ之ヲ受クルコトヲ得ス

第二十一條 論文試験ハ三月中ニ之ヲ行フモノトス但シ在學三年ヲ超ユル者ニ對シテハ隨時之ヲ行フコトアルヘシ

第二十二條 學士試験ヲ受ケントスル者ハ別表第二ノ學科別ノ一ヲ選定シ論文試験ヲ受ケントスル時ヨリ少クトモ一年以前ニ所屬學科ノ教授ヲ經テ學部長ニ届出ツヘシ

第二十三條 別表第二ニ掲ケタル以外ノ學科別ニ依リ學士試験ヲ受ケントスル者アルトキハ學部長教授會ノ議ヲ經テ之ヲ許可スルコトアルヘシ

前項ノ場合ニ於ケル試験科目ハ其ノ都度之ヲ決定ス

第五章 聽 講 生

第二十四條 九州帝國大學通則第八十二條ニ依リ本學部聽講生タルノ許可ヲ得ントスル者ハ學期毎ニ志望科目ヲ選定シ履歷書ヲ添へ願書ヲ學部長ニ差出スヘシ

第二十五條 聽講生ニハ試験ヲ行ハス

附 則

第二十六條 別表第一科目及授業時間數並ニ別表第二學科類別及試験科目ハ昭和六年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

第二十七條 舊規程ニ依リ入學シタル學生ニ對シテハ別ニ經過規程ヲ定メ之ヲ適用ス但シ新規程ノ一部若ハ全部ニ就キ履修セントスル者アルトキハ願ニ依リ教授會ノ議ヲ經テ之ヲ許可スルコトアルヘシ

附 則

本改正ハ昭和十年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

現ニ在學セル學生ニ對シテハ新舊學科課程及試験科目ニ付適宜斟酌ヲ加フ但シ昭和十年三月學士試験ニ合格セサル者ニ對シテハ舊規程ヲ適用シ新規程ニ依リ學士試験ヲ受ケントスル者アルトキハ願ニ依リ教授會ノ議ヲ經テ之ヲ許可スルコトアルヘシ

附 則

本改正ハ昭和十三年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

現ニ在學セル學生ニ對シテハ新舊學科課程及試験科目ニ付適宜斟酌ヲ加フ但シ昭和十三年三月學士試験ニ合格セサル者ニ對シテハ舊規程ヲ適用シ新規程ニ依リ學士試験ヲ受ケントスル者アルトキハ願ニ

依り教授會ノ議ヲ經テ之ヲ許可スルコトアルヘシ

別表第一 科目及授業時間數

科目 番號	科 目 名	每 週 時 數		準 備 科 目		
		第一學期	第二學期	第一種	第二種	第三種
〇〇一	數學第一 〔數學第一演習〕	二	一			
〇〇二	數學第二	二	二			
〇〇三	力學第一 〔力學第一演習〕	二	一			
〇〇四	力學第二	二	二			
〇〇五	實用數學	二	二			
〇〇六	數値及圖表計算	一	〇			
〇一〇	物理學第一	二	二			
〇一一	物理學第二	二	二			
〇一二	熱力學	二	〇			
〇一三	測定理論	二	〇			

〇一四	物理學實驗第一	又ハ	〇三			
〇一五	物理學實驗第二	三	〇三			
〇二〇	〔理論電氣學 理論電氣學演習〕	〇四	二			
〇二一	電氣理論大意	〇	二			
〇三〇	無機化學	〇	二			
〇三一	有機化學	三	三			
〇三二	有機化學實驗	一六 (六週間)	〇			〇三二
〇三三	物理化學	二	二			
〇三四	應用物理化學	二	〇			〇三三
〇三五	物理化學實驗	又ハ	〇三			〇三四
〇四〇	分析化學	二	〇			
〇四一	化學分析(甲)	一六	一〇 (一週六週間)			〇四〇
〇四二	化學分析(乙)	三九	三九			
〇四三	化學實驗(甲)	九	六			
〇四四	化學實驗(乙)	又ハ	〇四			

〇工學部規程 別表第一 科目及授業時間數

〇七五	岩石學	〇	二	〇八〇	
〇七六	岩石學實驗	三	〇	〇七五	
〇八〇	地質學	二	〇		
〇八一	地質學實驗	〇	二	〇八〇	
〇八二	構造地質學	二	〇	〇八〇	
〇八三	層位學	〇	二	〇八〇	
〇八四	層位學實驗	三	〇	〇八三	
〇八五	地質測量	六	〇	〇八〇	
〇八六	〔土木地質學 地質學特別演習〕	二	〇〇		
〇九〇	法 制	二	〇		
〇九一	經 濟	〇	二		
一〇〇	鐵道工學	〇	二		
一〇一	鐵道工學設計及製圖	一〇	〇		一〇〇
一〇二	道路及都市計畫	二	〇		
一一〇	橋梁工學	二	〇四		

〇工學部規程 別表第一 科目及授業時間數

〇四五	化學實驗(丙)	六	〇		
〇五〇	材料力學	二	〇		
〇五一	材料試驗	三	〇		
〇五二	〔彈性力學 力學演習〕	二	二		
〇六〇	構造力學	四	二		
〇六一	構造力學演習及製圖	六	四		
〇六二	構造力學大意	二	〇		
〇六三	水理學	〇	二		
〇七〇	礦物學第一	二	〇		
〇七一	礦物學第一實驗(甲)	三	三		〇七〇
〇七二	礦物學第一實驗(乙)	〇	三		〇七〇
〇七三	礦物學第二	二	〇		〇七三
〇七四	礦物學第二實驗	〇	二		

番 號	科 目 名	每 週 時 數		準 備 科 目		
		第一學期	第二學期	第一種	第二種	第三種
一一一	橋梁工學設計及製圖	一〇〇 (九週間)	一〇〇 (一〇週間)			一一〇
一一〇	河海工學	三四 (一〇週間)	四〇 (一〇週間)	〇六三 〇五四 〇五五 〇五〇		一二〇
一二一	河海工學設計及製圖	〇〇 (一〇週間)	〇〇			一二〇
一二二	水力土木	二	〇			
一三〇	衛生工學	二三 (七週間)	〇四	〇六三 〇五四 〇五五 〇五〇		一三〇
一三一	衛生工學設計及製圖	一	〇			
一三二	細菌學	一	〇			
一四〇	土木材料及施工法	二	二			
一四一	土木材料及施工法設計及製圖	〇	〇五 (九週間)			一四〇
一四二	鐵筋コンクリート	四	〇			
一四三	鐵筋コンクリート設計及製圖	〇	〇五 (四週間)			一四二
一四四	土木材料試驗	〇	〇三 (六週間)			
一五〇	測量及測地學	二	二			

一五一	測量及測地學實習 測量學特別實習	〇七	七 (一〇日以内)			一五〇
一五二	測量學	二	〇			
一五三	測量學實習(甲)	三	〇			
一五四	測量學實習(乙)	一	〇			
一五五	誤差論	一	〇			
一六〇	建築構造	二	〇			
一六一	建築學	〇	二			一六一
一六二	建築學設計及製圖	二	〇			
一七〇	土木工學大意	〇	二			
一七一	地震學	〇	二			
一七二	土木行政法	一八 (二週間)	〇			
一七三	土木工學特別講義	一	〇			
二〇〇	機械工學大意(甲)	二	二			
二〇一	機械工學大意(乙)	二	〇			
二〇二	機械製圖	又ハ 〇六	六〇			

〇工學部規程 別表第一 科目及授業時間數

二三〇	機械力學	二				
二三一	機械設計法	二〇	三〇			
二三二	機械設計法設計及製圖	六〇	〇六			
二四〇	應用熱學	二	〇			
二四一	蒸汽罐及タービン	二	二			
二四二	蒸汽機關及內燃機關	二	〇			
二四三	蒸汽機關理論	〇	二		二四〇	
二四四	內燃機關理論	二	〇		二四〇	
二四五	內燃機關構造	〇	二		二四四	
二四六	輕發動機	一	〇		二四四	
二四七	熱機關演習	二	二		二四四	二四三〇
二四八	熱機關實驗	〇	三		二四四	二四一
二五〇	船用機關大意	二	二			
二五一	船用機關大意設計及製圖	〇	二			二五〇
二五二	船用機關第一	二	二			

○工學部規程 別表第一 科目及授業時間數

二〇三	原動機實驗		第一學期 (三週間) 三	第二學期 (三週間) 三	第一種	第二種	第三種
二一〇	水力機械通論	〇		二			三三〇 三四〇 二一〇
二一一	水力機械第一	二		〇			
二一二	水力機械第二 水力機械第二演習	〇〇		二二			
二一三	水力機械實驗	三		〇			二二一 二一一
二一四	水力機械設計及製圖	〇		六			三三一 三一 三一
二二〇	機械學通論	二		〇			
二二一	機構學	二		〇			
二二二	工作法(甲)	二		二			
二二三	工作法(乙)	二		二			
二二四	工作法實習(甲)	六		三			
二二五	工作法實習(乙)	〇		三			又八 二二二 二二三
二二六	工作機械	二		〇			

○工學部規程 別表第一 科目及授業時間數

科目	科目名	第一學期	第二學期	第一種	第二種	第三種
三一三	電氣機械特論	二	二		三一三	
三一四	電氣機械特論演習	三	三		三一四	三一三
三一五	電氣機器設計及製圖	一	六			三一五
三一六	電氣材料	一	六			
三一七	電氣工學實驗(甲)	五六	六		三一七	三一七
三一八	電氣工學實驗(乙)	又八三〇	三〇			三一八
三二〇	發電所及變電所	二	二		三二〇	三二〇
三二一	送電及配電	二	二		三二一	三二一
三二二	蓄電池及蓄電池實驗	三	〇		三二二	
三二三	電燈及照明	二	〇		三二三	三二三
三二四	電燈及照明實驗	〇	三		三二四	
三二五	電氣鐵道	〇	二		三二五	
三二六	電熱工學	〇	二		三二六	
三三〇	電信電話學通論及實驗	三	〇		三三〇	三三〇

科目	科目名	第一學期	第二學期	第一種	第二種	第三種
二五三	船用機關第二	二	〇			
二六〇	起重機	二〇	〇			
二六一	運搬機	二	〇			
二六二	機關車	二	〇			
二八〇	紡織機械	二	〇			
二八五	冷凍及冷房	二	〇			
二八六	暖房及換氣	二	〇			
三〇〇	電氣磁氣測定法及實驗	九	六		三〇〇	三〇〇
三〇一	電氣測定器及計器	〇	二		三〇一	三〇一
三〇二	交流理論第一演習	〇	二		三〇二	三〇二
三〇三	交流理論第二	〇	二		三〇三	三〇三
三一〇	電氣工學大意	二	二			
三一三	電氣機械	四〇	〇			三一三

○工學部規程 別表第一 科目及授業時間數

科目	科目名	第一學期	第二學期	第一種	第二種	第三種
四六四	特別實驗	(六週間) 四	〇			
五〇〇	鑛業地理	〇	一			
五〇一	鑛床學	二	二		〇〇七〇〇	五〇一
五〇二	鑛床學實驗	〇	二			
五〇三	物理探鑛學	〇	二			
五〇四	物理探鑛學實驗	三	〇		五〇三	
五一〇	探鑛學通論	二	二			
五一一	探鑛學第一	四	二		五一〇	
五一二	探鑛學第二	二	〇			
五一三	探鑛機械	二	二			
五一四	探鑛學實驗	三〇	三			五五三
五一五	鑛山測量	〇	二		一五二	
五二〇	選鑛學大意	〇	二			
五二一	選鑛學	四	二		五二〇	
五二二	選鑛學實驗	三	〇		五二一	

科目	科目名	第一學期	第二學期	第一種	第二種	第三種
四四〇	タール工業	二	〇			
四四一	染料及染色	〇	二		四四〇	
四四二	染料及染色實驗	〇	〇		〇四一	
四四三	顏料	〇	一			
四五〇	油脂工業	二	一			
四五一	芳香油及塗料	二	〇			
四五二	鑛油工業	〇	二			
四五三	油類工業實驗	(六週間) 一六	〇		〇四一	
四五四	減摩及減摩劑	一	〇			
四六〇	燃料	〇	二			
四六一	燃料實驗	〇	(六週間) 一六		〇四一	
四六二	火藥學	二	〇			
四六三	皮革及ゴム工業	二	〇			

六一一	鐵冶金學實驗	三〇	三三	六一〇	
六一二	鐵試金術實習	三	三		
六二〇	電氣冶金學(甲)	二	二		
六二一	電氣冶金學(乙)	二	〇		
六二二	電氣冶金學實驗	六	〇		六二〇
六二三	特殊冶金學	二	〇		
六二四	特殊冶金學實驗	三	〇		六二二
六三〇	製造冶金學	二	二		
六三一	製造冶金學實驗	三	三		六三〇
六三二	金屬組織學	二	二		
六三三	金屬組織學實驗	三	〇		六三二
六三四	金屬材料(甲)	四	四		六三三
六三五	金屬材料(乙)	二	二		
六三六	金屬材料大意	二	〇		
六四〇	冶金製圖	三	〇		

○工學部規程 別表第一 科目及授業時間數

科目 番號	科目 目 名	每週 時數		準 備 科 目		
		第一學期	第二學期	第一種	第二種	第三種
五二三	煉炭及團鍊	〇	二			
五二四	材料運搬法	二	〇			
五三〇	探礦學設計及製圖	六〇	〇六		二〇二	五一〇
五四〇	鑛業法規	二	〇			
六〇〇	冶金學汎論	三	〇			
六〇一	理論冶金學	二	〇			
六〇二	冶金學	二〇	〇二		六〇〇	
六〇三	冶金學大意	〇	二			
六〇四	冶金學實驗	三〇	三三			六〇二
六〇五	試金術實習(甲)	三	三			
六〇六	試金術實習(乙)	〇	三			
六〇七	驗熱實習	三	〇			
六一〇	鐵冶金學	二〇	〇二		六〇〇	

科目 番號	科目 目 名	每週 時數		準 備 科 目		
		第一學期	第二學期	第一種	第二種	第三種
六四一	冶金設計及製圖	三	〇			
六四二	鐵冶金設計及製圖	三	〇			
七〇〇	造船學大意	二	二			
七〇一	流體力學	二	二			
七〇二	造船數學	二	〇			
七〇三	船舶復元性	〇	二		七〇二	
七〇四	船體構造	二	二			
七〇五	造船工作法	二	二			
七〇六	船舶法規	隔週二	〇			
七〇七	航海運用術	隔週二	〇			
七〇九	造兵學大意	隔週二	〇			
七一〇	構造學通論	〇	二			
七一〇	船體強度理論	二	二		七〇五 七〇〇	

七二一	軍艦設計及纜裝	二	二	七〇二		
七三一	船舶抵抗推進及旋迴	二	二	七〇二		
七四一	船舶動搖	〇	二	七〇三	〇〇〇 〇〇一 〇〇三	
七四二	船體振動	二	〇			
七五一	商船設計	二	〇	七〇二		
七五二	商船纜裝	〇	二			
七五三	漁船設計及纜裝	隔週二	〇			
七六二	造船學實驗第一	三	三			
七六三	造船學實驗第二	三	三			
七七一	造船學演習第一	二	二			
七七二	造船學演習第二	四	四			
七七三	造船學演習第三	四	四			
七八一	造船設計及製圖(甲)第一	六	二			
七八二	造船設計及製圖(甲)第二	二	一〇		七〇四 七八一	又 七二一 七五一
七八三	造船設計及製圖(甲)第三	二	二		七八二	

科目 番 號	科 目 名	每 週 時 數		準 備 科 目		
		第一學期	第二學期	第一種	第二種	第三種
七八四	造船設計及製圖(乙)	三	三			
八〇〇	航空學通論	二	〇			
八〇五	航空運用術	二	〇			
八〇六	航空法規	二	〇			
八〇七	航空機附屬機器	二	二			
八〇八	航空氣象學	二	〇			
八〇九	航空學特別講義	二	二			
八一	航空機構造	一	三			
八一二	航空機設計	二	二			
八一三	特殊航空機	二	〇			
八二一	航空力學第一	〇	二			
八二二	航空力學第二	三	三			
八二三	航空機運動論	二	二			

八三〇	航空機構造力學	〇	二			
八三一	航空機強度論	二	二			
八三二	航空機振動論	二	二			
八四〇	航空原動機理論	二	二			
八四一	航空原動機構造及設計	二	二			
八五〇	航空機工作法	二	〇			
八五一	プロペラ構造及設計	〇	二			
八五七	航空學論文研究(甲)	二	二			
八五八	航空學論文研究(乙)	四	四			
八六一	航空學實驗第一	〇	三			
八六二	航空學實驗第二	四	四			
八六三	航空學實驗第三	四	〇			
八七一	航空學演習第一	八	六			
八七二	航空學演習第二	六	六			
八七三	航空學演習第三	八	八			

○工學部規程 別表第一 科目及授業時間數

○工學部規程 別表第二 學科別及試驗科目

科目	試驗科目	土木工學	機械工學	(物理工學甲) 機械工學	電氣工學	(物理工學乙) 電氣工學	應用化學	(電氣化學) 應用化學	探採	冶金	造船	航空
一二二	水力土木	○										
一三〇	衛生工學	○										
一三一	衛生工學設計及製圖	○										
一四〇	土木材料及施工法	○										
一四一	土木材料及施工法設計及製圖	○										
一四二	鐵筋コンクリート	○										
一四三	鐵筋コンクリート設計及製圖	○										
一四四	土木材料試驗	○										
一五〇	測量及測地學	○										
一五一	測量及測地學實習 測量學特別實習	○										
一五二	測量學				(a) ○ (c) ○							
一五三	測量學實習(甲)											
一五四	測量學實習(乙)				(a) ○ (c) ○							
一五五	誤差論	○										
一六〇	建築構造		○									

科目	試驗科目	土木工學	機械工學	(物理工學甲) 機械工學	電氣工學	(物理工學乙) 電氣工學	應用化學	(電氣化學) 應用化學	探採	冶金	造船	航空
〇八三	層位學								○			
〇八四	層位學實驗								○			
〇八五	地質測量								○			
〇八六	土木地質學 地質學特別演習	○										
一〇〇	鐵道工學	○										
一〇一	鐵道工學設計及製圖	○										
一〇二	道路及都市計畫	○										
一一〇	橋梁工學	○										
一一一	橋梁工學設計及製圖	○										
一二〇	河海工學	○										
一二一	河海工學設計及製圖	○										

○工學部規程 別表第二 學科別及試驗科目

科目	試驗科目	土木工學	機械工學	電氣工學	電氣工學(物理工學)	應用化學	應用化學(電氣化學)	探採鑛學	冶金學	造船學	航空學
三三一	電信學			○	○						
三三二	電話學 電話學演習			○	○						
三三三	電信電話學實驗			○	○						
三四〇	高周波電氣工學			○	○						
三四一	電子管工學			○	○						
三四二	電子管工學特論			○	○						
三四三	高周波電氣工學實驗(甲)			○	○						
三四四	高周波電氣工學實驗(乙)			○	○						
三五〇	電氣工學演習			○	○						
四〇〇	無機工業化學大意								○		
四〇一	無機工業化學實驗										
四〇二	化學工業機械										
四〇三	工場設計及製圖										
四一〇	酸及アルカリ工業										
四一一	窯業第一										

科目	試驗科目	土木工學	機械工學	電氣工學	電氣工學(物理工學)	應用化學	應用化學(電氣化學)	探採鑛學	冶金學	造船學	航空學
三一六	電氣材料			○	○						
三一七	電氣工學實驗(甲)			○	○						
三一八	電氣工學實驗(乙)			○	○						
三二〇	發電所及配電所			○	○						
三二一	送電及配電			○	○						
三二二	蓄電池及蓄電池實驗			○	○						
三二三	電燈及照明			○	○						
三二四	電燈及照明實驗			○	○						
三二五	電氣鐵道			○	○						
三二六	電熱工學			○	○						
三三〇	電信電話學通論及實驗			○	○						

○工學部規程 別表第二 學科別及試驗科目

科目	試驗科目	土木學	機械學	(物理學工甲學理)學工械機	電氣學	(物理學工乙學理)學工氣電	應用化學	應用化學(電氣學)	探採學	冶金學	造船學	航空學
五二一	選鐵學								○			
五二二	選鐵學實驗								○			
五二四	材料運搬法								○			
五三〇	探鐵學設計及製圖								○			
五四〇	鑛業法規								○			
六〇〇	冶金學汎論								○			
六〇一	理論冶金學								○			
六〇二	冶金學								○			
六〇三	冶金學大意								○			
六〇四	冶金學實驗								○			
六〇五	試金術實習(甲)								○			
六〇六	試金術實習(乙)								○			
六〇七	驗熱實習								○			
六一〇	鐵冶金學								○			
六一一	鐵冶金學實驗								○			

科目	試驗科目	土木學	機械學	(物理學工甲學理)學工械機	電氣學	(物理學工乙學理)學工氣電	應用化學	應用化學(電氣學)	探採學	冶金學	造船學	航空學
五〇一	鑛床學								○			
五〇二	鑛床學實驗								○			
五〇三	物理探鐵學								○			
五〇四	物理探鐵學實驗								○			
五一〇	探鐵學通論								○			
五一一	探鐵學第一								○			
五一二	探鐵學第二								○			
五一三	探鐵機械								○			
五一四	探鐵學實驗								○			
五一五	鑛山測量								○			
五二〇	選鐵學大意								○			

○工學部規程 別表第二 學科別及試驗科目

科目	試驗科目	六三五	六三六	六四〇	六四一	六四二	七〇〇	七〇一	七〇二	七〇三	七〇四	七〇五	七一〇	七一一	七二一	七三一
金屬材料(乙)		○														
金屬材料大意																
冶金製圖																
冶金設計及製圖																
鐵冶金設計及製圖																
造船學大意																
流體力學																
造船數學																
造船復原性																
船體構造																
造船工作法																
構造學通論																
船體強度理論																
軍艦設計及裝裝																
船舶抵抗推進及旋迴																

科目	試驗科目	六二二	六二〇	六二一	六二二	六二三	六二四	六三〇	六三一	六三二	六三三	六三四
鐵試金術實習												
電氣冶金學(甲)												
電氣冶金學(乙)												
電氣冶金學實驗												
特殊冶金學												
特殊冶金學實驗												
製造冶金學												
製造冶金學實驗												
金屬組織學												
金屬組織學實驗												
金屬材料(甲)												

科目番号	試験科目別	航空學										
		土木工學	機械工學	機械工學(物理學甲)	電氣工學	電氣工學(物理學乙)	應用化學	應用化學(電氣學)	採掘學	冶金學	造船學	航空學
八四一	航空原動機構造及設計											○
八五〇	航空機工作法											○
八五一	プロペラ構造及設計											○
八五七	航空學論文研究(甲)											○
八五八	航空學論文研究(乙)											○
八六一	航空學實驗第一											○
八六二	航空學實驗第二											○
八六三	航空學實驗第三											○
八七一	航空學演習第一											○
八七二	航空學演習第二											○
八七三	航空學演習第三											○

八八一	航空機設計及製圖第一											○
八八二	航空機設計及製圖第二											○
八八三	航空機設計及製圖第三											○

備考 本表中(a)(b)(c)等ハ各組合セ中一組ヲ選擇スルモノトス

○委託學生規程

- 第一條 官廳又ハ公共團體等ヨリ一箇年以上ヲ在學期限トシ修業科目ヲ定メテ工學部ニ學生ヲ委託セントスルトキハ入學ヲ許可スルコトアルヘシ
- 第二條 委託學生ノ入學資格ハ學部ニ於テ之ヲ認定ス
- 第三條 委託學生ノ入學ハ學年ノ始トス
- 第四條 委託學生ノ授業料ハ委託者ヨリ本學ニ納付スルモノトス
授業料ノ金額ハ學科ノ種類其ノ他ノ事情ニ依リ隨時之ヲ定ム
- 第五條 委託學生ニシテ學力ノ檢定ヲ受ケ高等學校高等科ト同等以上ト認メラレタル者學士試驗ニ合格シタルトキハ合格證書ヲ付與シ工學士ト稱スルコトヲ得シム

○委託學生規程

第六條 委託學生ニシテ所定ノ試問ニ合格シタル者ニハ本人ノ志願ニ依リ學力ヲ檢定シ高等學校高等科同等以上ト認メタルトキハ卒業證書ヲ授與スルコトアルヘシ

第七條 本規程ノ外九州帝國大學ノ諸規則ハ之ヲ委託學生ニ準用ス

○農學部規程

第一章 學科及修學

第一條 本學部ニ左ノ五學科ヲ置ク

- 一、農 學 科
- 二、農 藝 化 學 科
- 三、林 學 科
- 四、水 産 學 科
- 五、農 業 工 學 科

第二條 本學部ノ最短在學期間ハ受験期ヲ通算シテ三箇年トス

第三條 授業科目ヲ必修科目及選擇科目トス其ノ科目並ニ最短在學期間ニ於ケル標準時間數別表ノ如

シ

第四條 學生ハ修學ノ始及其ノ終ニ於テ本學部制定ノ修學簿ヲ當該學科擔任ノ教官ニ提出シ其ノ修學始ノ許可及修學終ノ證明ヲ受クヘシ

第五條 學生ノ在學期間ハ六箇年ヲ超ユルコトヲ許サス但シ休學シタル期間ハ之ヲ算入セス

第二章 入 學

第六條 九州帝國大學通則第六條第二號ニ依リ本學部ニ入學セントスル者ハ專門學校程度ノ農林學校卒業者、高等師範學校及女子高等師範學校本科理科卒業者又ハ專門學校卒業者ニシテ本學部ニ於テ適當ト認メタル者

第七條 前條ノ資格ヲ有スル者ニシテ入學セントスルトキハ願書ニ履歷書及醫師ノ體格檢查書ヲ添付シ二月十五日迄ニ願出ツヘシ

第三章 試 驗

第八條 科目試験ハ必修科目及選擇科目ニ就キ之ヲ行フ

第九條 試験ハ同一科目ニ就キ毎年一回又ハ二回トシ學期ノ終ニ於テ之ヲ行フ但シ場合ニ依リ臨時ニ之ヲ行フコトアルヘシ

第十條 試験ノ科目及期日ハ二週間前ニ之ヲ揭示ス

第十一條 試験ヲ受ケントスル者ハ試験期日揭示後一週間以内ニ擔任教官へ申出ツヘシ

第十二條 實驗、演習、實習及見學ハ擔任教官ノ意見ニ依リ試験ヲ施行セスシテ成績ヲ定ムルコトアルヘシ

第十三條 試験ノ成績ハ各科目ニ就キ合格、不合格ノ二トス

第十四條 合格シタル科目ニ對シテハ希望ニ依リ證明書ヲ與フルコトアルヘシ

第十五條 大學令第十條ニ依ル學士試験ハ科目試験及論文試験トス

論文試験ハ科目試験ノ全部ニ合格シタル後ニアラサレハ之ヲ受クルコトヲ得ス

第十六條 論文試験ハ教官ノ承認ヲ得タル特別ノ問題ニ就キ學生ノ提出シタル論文ノ審査及口頭試問トス

第十七條 學士試験ノ成績ハ合格、不合格ノ二トス

第四章 選 科 生

第十八條 所定ノ科目中一科目若ハ數科目ヲ選ヒ之ヲ修メントスル者ハ學力檢定ノ上選科生トシテ收容スルコトアルヘシ

第十九條 選科生トシテ入學ヲ志望スル者ハ其ノ選擇セント欲スル科目ヲ記載シ願書ニ履歷書及醫師ノ體格検査書ヲ添付シ二月十五日迄ニ願出ツヘシ

第二十條 九州帝國大學通則中正科生ニ關スル規定、本規程第三條中標準時間數第四條及第九條乃至第十四條ハ之ヲ選科生ニ準用ス

附 則

本規程中第七條及第十九條ヲ除クノ外ハ大正十一年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

附 則

本改正ハ昭和十七年四月一日ヨリ之ヲ施行ス
現ニ農學科（農業工學專修）ニ在學セル學生ニ對シテハ新舊學科目ニ就キ適宜斟酌シ新規程ニ依リ學士試験ヲ受ケシム

附 則

一、本改正ハ昭和十七年十月一日ヨリ之ヲ施行ス
一、現ニ在學セル學生ニ對シテハ新舊科目ニ就キ適宜斟酌ヲ加フ

別表
農學科

必修科目	第一一年		第二二年		第三三年	
	第一學期	第二學期	第一學期	第二學期	第一學期	第二學期
作物學各論第一	二	一	三			
熱帶作物學					三	
園藝學第一	二	一				
畜產學各論	一	二				
畜產學各論						
農學			三			
農業經濟學	三					
農業經營學	二					
農政學						

農業地理學	二					
農業工學			二			
植物病理學各論						
農業昆蟲學	二					
農業氣象學	二					
土壤學	二	一				
肥料學總論	二					
作物學實驗及實習(甲)	一回	一回				
園藝學實驗及實習	一回	一回				
畜產學實驗及實習(甲)	一回	一回				
農學實習				一回		
農業工學實驗及實習				一回		
實地見學						
特別研究						

○農學部規程 別表(農學科)

家畜組織學	家畜解剖學	獸醫學	家畜榮養學	飼料論	酪農學	畜產加工論	昆蟲學	蠶種學	蠶體病理學	蠶絲化學	農業機械學各論	氣象學特論	統計學	數學第一及演習
													二	
							二							三
												二		三
												二		
												二		

選擇科目	農學總論	育種學	作物學各論第二	園藝學第二	園藝加工論	造園學	肥料學各論	植物病理學各論	有用植物分類學	植物生理學	遺傳學	農業動物學	特殊家畜論	蕃殖生理學
							二							

○農學部規程 別表(農學科)

特別演習	特別實習	特別實驗	特別講義	外國語	數學及演習	農業經營學演習	農政學演習	農業經濟學演習	化學實驗	農業昆蟲學實習	昆蟲學實驗	蠶學實驗	農業動物學實驗	畜產學實驗及實習(乙)
					三									
					三					一回				
									一回	一回			一回	一回
							二	二						
						二						一回		

地質學實驗	氣象學特論演習	農業氣象學實驗	植物生理學實驗(生理)	植物生理學實驗(解剖)	植物病理學實習	植物病理學實驗	作物學實驗及實習(乙)	育種學實驗	樹病學	森林保護學	森林立地學	森林生態學	林學通論	哲學概論
					一回									
						一回								
							一回	一回						
					二									
	一回									二	二	二	二	四
	一回													

備考

- 一、必修科目ノ履修ハ本表ニヨルコトヲ要ス
- 一、選擇スベキ科目ノ數ハ二十以上トシ其ノ數及科目ハ植物生産關係、動物生産關係、農業經濟關係等特別研究ノ種類ニ應ジテコレヲ指定ス

農藝化學科

必修科目	第一一年		第二二年		第三三年	
	第一學期	第二學期	第一學期	第二學期	第一學期	第二學期
物理化學第一	二	二				
有機化學	三	三				
分析化學	二					
地質學	二					
植物生理學	一	二				
微生物學		二				

作物學	二	一				
土壤學			二	二		
肥料學總論	二	二				
肥料學各論						
生物化學總論	二	二				
生物化學各論			二	一		
酵素化學				一		
醱酵生理學			二	二		
農産製造學				二		二
家畜榮養學			二	一		
酪農學			一	一		
食品化學			二	二		
蠶絲化學					二	
地質學實驗		二				
分析化學實驗	五回					

○農學部規程 別表(農藝化學科)

電氣工學大意	機械工學大意(甲)	農業機械學實驗	農力構造力學演習	農林構造力學	物理化學第一	無機化學	分析化學	有機化學	生物化學總論	森林化學實驗第二	森林化學實驗第一	木材化學	物理學第一	統計學
												二		
			一回	四			二	三			一回		二	
	二			二				三		一回			二	
		一回			二				二	二回				
									二		二回			二

林業史	農政學	農業會計學	農業經濟學	農業經營學	經濟學概論(第一部)	財政學(總論)	民法(債權總論)	民法(物權)	民法(總則)	材料力學	力學第一及演習	數學第一及演習	數學第二	土木材料及施工法
									四					
	二												三	
	一							四					三	
		二	三		四	四	四			二	三	二		二
二											三	二		二

○農學部規程 別表(林學科)

○農學部規程 別表(水產學科)

浮游生物學	水族病理學	水族生態學	植物生理學	動物學實驗	動物學	機械工學大意(甲)	機械學汎論	工業化學大意	化學工業第一	鹽及苦汁工業	冷藏論	油脂工業	食品化學	漁況論
二														
	一		一	一回	一			二	二					
		二	二	一回	二			二	二	一	二			
						二	二					二	二	二
												一	二	

海洋氣象學	統計學	生物化學各論	生物化學總論	分析化學	有機化學	無機化學	物理化學	物理學第一	數學及演習	選擇科目	實地見學	特別研究	水產植物學實驗
				二	三		二		三				一回
	二				三		二		三				一回
			二				二						
二			二			二	二						
												四回	
		二										五回	

第二條 九州帝國大學通則第七條第二項及第八條第二項ニ依リ本學部ニ於テ選拔試験ヲ行フ場合ニ於テ其ノ試験科目ハ隨時教授會ノ議決ニ依リ之ヲ定ム

第二章 授業

第三條 本學部ニ於ケル授業科目左ノ如シ

哲 學	西洋哲學史	論理學及認識論
國家及社會哲學	倫理學及倫理學史	心 理 學
社 會 學	教育學及教育史	宗 教 學
美 學	東洋美術史	西洋美術史
支那哲學史	印度哲學史	法 理 學
憲 法	國 法 學	行 政 法
民 法	民事訴訟法	刑 法
刑事訴訟法	商 法	社 會 法
國際公法	國際私法	日本法制史
西洋法制史	政 治 學	國際政治學

政治學史	政治史及外交史	經濟學概論
貨幣論	銀行論	國際金融論
農業政策	工業政策	商業政策
交通政策	社會政策	保 險 學
植民政策	經濟史	經濟學史
社會思想史	日本思想史	財 政 學
統計學	會計學	經 營 學
景氣變動論	史學概論	國 史
西洋史	東洋史	考 古 學
地理學	言語學	文學概論
國語學及國文學	支那語學及支那文學	英語學及英文學
佛語學及佛文學	獨語學及獨文學	法 律 演 習
政治演習	經濟演習	財政演習
外國法(英・佛・獨)	外國語(英・佛・獨)	外國語經濟書(英・佛・獨)

○法文學部規程 第二章 授業

前項ニ掲クルモノノ外臨時開設スヘキ授業科目ハ教授會ノ議決ニ依リ其ノ都度之ヲ定ム

第四條 學生ハ前條ノ授業科目中ニ就キ任意ニ選擇シテ履修スルコトヲ得

第五條 本學部ノ最短修學期間ハ三年トス

第六條 一年ノ修學期間ヲ左ノ二トス

第一學期 四月一日ヨリ十月三十一日ニ至ル

第二學期 十一月一日ヨリ翌年三月三十一日ニ至ル

第七條 各學期ニ於テ授業スヘキ科目、授業時間數及授業擔任者ハ各學期ノ始ニ之ヲ公示ス

第八條 學生ハ各學期ノ始ニ於テ其ノ履修セントスル科目ヲ學部長ニ届出ツヘシ

第三章 試 驗

第九條 大學令第十條ニ依リ本學部ニ於テ行フ試験ヲ受ケ學士ト稱スルコトヲ得ルニハ第十條、第十

一條又ハ第十二條ニ依ル試験ニ合格シ且外國法外國語又ハ外國語經濟書三單位ノ試験ニ合格シタル

者ナルコトヲ要ス

第十條 法學士ト稱スルコトヲ得ルニハ左ノ諸科目中十三單位並ニ本學部ノ授業科目中ヨリ選擇スル

十單位ノ試験ニ合格シタル者ナルコトヲ要ス

科目	單位數	科目	單位數	科目	單位數
法 理 學	一	憲 法	一	國 法 學	一
行 政 法	二	民 法	五	民 事 訴 訟 法	二
刑 法	二	刑 事 訴 訟 法	一	商 法	三
社 會 法	一	國 際 公 法	二	國 際 私 法	一
日 本 法 制 史	一	西 洋 法 制 史	一	政 治 學	一
國 際 政 治 學	一	政 治 學 史	一	政 治 史 及 外 交 史	二

第十一條 文學士ト稱スルコトヲ得ルニハ左ノ諸科目中十六單位並ニ本學部ノ授業科目中ヨリ選擇スル四單位ノ試験ニ合格シ且左ノ諸科目中ノ何レカニ關係アル論文ヲ提出シテ其ノ審査ニ合格シタル者ナルコトヲ要ス

科目	單位數	科目	單位數	科目	單位數
哲 學	二	西 洋 哲 學 史	五	論 理 學 及 認 識 論	二
國 家 及 社 會 哲 學	二	倫 理 學 及 倫 理 學 史	五	心 理 學	五
社 會 學	五	教 育 學 及 教 育 史	五	宗 教 學	五

○法文學部規程 第三章 試驗

美 學	二	東洋美術史	二	西洋美術史	二
支那哲學史	五	印度哲學史	五	日本思想史	二
史學概論	一	國 史	六	西 洋 史	六
東 洋 史	五	考 古 學	一	地 理 學	二
言 語 學	二	文 學 概 論	一	國語學及國文學	九
支那語學及支那文學	九	英語學及英文學	九	佛語學及佛文學	九
獨語學及獨文學	九				

右ノ外必要アルトキ教授會ノ決議ニ依リ他學部ノ講義科目ニシテ本學部ノ講義科目ト同等ト認メタル科目 二

第十二條 經濟學士ト稱スルコトヲ得ルニハ左ノ諸科目中十三單位並ニ本學部ノ授業科目中ヨリ選擇スル十單位ノ試験ニ合格シタル者ナルコトヲ要ス
 左ノ諸科目中ノ何レカニ關係アル論文ヲ提出スルコトヲ以テ前項ニ依ルニ單位ノ受験ニ代フルコトヲ得

單位數

單位數

單位數

經濟學概論	二	貨 幣 論	一	銀 行 論	一
國際金融論	一	農 業 政 策	一	工 業 政 策	一
商 業 政 策	一	交 通 政 策	一	社 會 政 策	一
保 險 學	一	植 民 政 策	一	經 濟 史	一
經 濟 學 史	一	社 會 思 想 史	一	財 政 學	二
統 計 學	一	政 治 學 及 政 治 學 史	二	社 會 學 (概 論)	一
會 計 學	一	經 營 學	一	景 氣 變 動 論	一

第十三條 外國法、外國語又ハ外國語經濟書ノ試験ハ英・佛・獨ノ中學生ノ選擇スル何レカニ付之ヲ行フ

第十四條 試験ハ毎年二回、十月及三月ニ於テ之ヲ行フ
 第十五條 第十一條及第十二條ニ依ル論文ハ在學第三年ノ第二學期以後ニ非サレハ提出スルコトヲ得ス

前項ノ論文ヲ提出スル期限ハ毎年九月十五日及一月十五日トス

第十六條 試験ハ履修シタル科目ニ非サレハ之ヲ受クルコトヲ得ス

第十七條 試験ノ成績ハ優、良、可、不可ノ四等トシ優、良、可ヲ合格トス

第十八條 試験ニ合格シタル科目ハ之ヲ修學簿ニ記入シ其ノ合格ヲ證明ス

第十九條 學士ノ稱號ヲ得ントスル學生ハ其ノ志望スル學士號ノ種類ヲ明記シ入學ノ始ニ於テ之ヲ學部長ニ届出ツヘシ

前項ノ學士號ハ一種ニ限ル

第二十條 學士試験ニ合格シタル者更ニ他ノ種ノ學士ノ稱號ヲ得ントスルトキハ學部長ノ許可ヲ得テ引續キ本學部ニ在學スルコトヲ得

前項ノ學生他ノ種ノ學士ノ稱號ヲ得ルニハ更ニ一年以上在學シ第十條乃至第十二條ニ依ルノ外尙本學部ノ授業科目中新ニ六單位ノ試験ニ合格スルコトヲ要ス

第二十一條 學士試験ニ合格シタル者退學ノ後再ヒ本學部ニ入學シ他ノ種ノ學士ノ稱號ヲ得ントスルトキハ前條第二項ノ規定ヲ準用ス

第四章 在學期間

第二十二條 學生ノ在學期間ハ六年ヲ超ユルコトヲ得ス但シ休學中ノ期間ハ之ヲ在學期間ニ算入セス前項ノ期間ハ第二十條第二項及第二十一條ノ場合ニ於テハ三年トス

第五章 選科生

第二十三條 中等學校以上ノ學校ヲ卒業シタル者ハ本學部所定ノ試験ヲ行ヒタル上選科生トシテ入學ヲ許可スルコトアルヘシ

第二十四條 選科生ハ其ノ履修シタル科目ノ試験ヲ受ケ合格證明ヲ受クルコトヲ得

第二十五條 其ノ他選科生ニ關シテハ正科生ノ規程ヲ準用ス

第六章 聽講生

第二十六條 中等學校以上ノ學校ヲ卒業シ且本學部ニ於テ適當ノ學力アリト認メタル者ニシテ本學部ノ授業ヲ聽講スルコトヲ志望スル者アル時ハ設備ノ許ス限り學期毎ニ聽講生トシテ之ヲ許可スルコトヲ得

第二十七條 聽講生タラントスル者ハ其ノ聽講セントスル科目ヲ記載シ學期開始前又ハ學期ノ始ニ學部長ニ願出ツヘシ

第二十八條 聽講生ニ對シテハ試験ヲ行ハス但シ聽講生ノ請求アル場合ハ聽講證明書ヲ附與スルコトアルヘシ

第二十九條 聽講生ニハ每學期一單位ニ相當スル講義ニ付聽講料金七圓ヲ納付セシム

既納ノ聽講料ハ之ヲ還付セス

附 則

本規程ハ昭和十四年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

但シ現ニ在學スル學生ニ對シテハ舊規程ニ依リ受験合格シタル言語學概論、支那文學、英文學、佛文學、獨文學ノ各單位ハ新規程ニ依ル言語學、支那語學及支那文學、英語學及英文學、佛語學及佛文學、獨語學及獨文學ノ各單位ト看做ス

○理學部規程

第一章 入 學

第一條 通則第六條所定ノ學力檢定試驗ヲ受ケ得ル者ハ左ノ各號ノ一ニ該當シ且本學部ニ於テ適當ト認メタル者トス

- 一、高等師範學校若ハ女子高等師範學校ノ本科理科卒業者
- 二、專門學校卒業者若ハ之ト同等以上ノ者

第二章 在學年限

第二條 本學部ノ在學年限ハ三年ヲ以テ通規トシ六年ヲ超ユルコトヲ許サス但シ休學シタル期間ハ之ヲ算入セス

第三章 學科課程

第三條 本學部ニ左ノ三學科ヲ置ク

物 理 學 科

化 學 科

地 質 學 科

學生ハ右ノ一學科ニ付入學ヲ許可セラルルモノトス

第四條 本學部ニ於テ授業スル學科目ヲ分チテ左ノ三種トス

必 修 科 目

選 擇 科 目

參 考 科 目

第五條 學生ハ其ノ所屬以外ノ學科ノ學科目ヲ學修スルコトヲ得

第六條 各學科ニ於ケル學科目並ニ各學年ニ於ケル標準授業時間數ハ別表ノ如シ

○理學部規程 第一章 入學 第二章 在學年限 第三章 學科課程 二七一

第七條 學生ハ每學年ノ始ニ於テ當該學年間ニ學修セムトスル學科目ヲ定メ之ヲ當該學科目擔任者ニ申請シ其ノ許可ヲ受クヘシ授業ノ開始期カ學年ノ始ニアラサル學科目ニアリテハ其ノ時ニ於テ前項ノ申請ヲ爲スコトヲ得

第八條 一學科目ニ付前條ノ申請ヲ爲ス學生ノ員數學修セシメ得ヘキ人員ヲ超過スルトキハ左ノ順序ニヨリ之ヲ許可ス

- 一、當該學科目ヲ必修科目トスル者
- 二、當該學科目ヲ選擇科目トスル者
- 三、當該學科目ヲ參考科目トスル者及其他ノ者

第九條 學生ハ各學科目毎ニ其ノ修學ヲ了リタルトキ當該學科目擔任者ノ修學證明ヲ受クヘシ

第四章 試 驗

第十條 試驗ハ必修科目及選擇科目ニ付之ヲ行フ但シ參考科目ニ付行フコトアルヘシ

第十一條 試驗ハ同一學科目ニ付毎年一回又ハ二回トシ學期ノ終ニ於テ之ヲ行フ但シ特別ノ場合ニハ此ノ限ニ在ラス

第十二條 學生ハ受験セントスル學科目ニ付當該學科目擔任者ニ申請シ其ノ許可ヲ受クヘシ

第十三條 試驗ノ成績ハ合格、不合格ノ二トス

第十四條 所屬學科ノ必修科目及左ノ標準ニヨル選擇科目ノ試験ニ合格シタル者ハ大學令第十條ニ依ル學士試験合格者トス

物理學科 函數論、同演習及物理學特別演習ノ外四科目以上又ハ應用電氣學及物理學特別實驗ノ外四科目以上

化學科 三科目以上
地質學科 五科目以上

第五章 聽 講 生

第十五條 聽講生タラントスル者ハ學期開始前又ハ學期ノ始ニ學部長ニ願出ツヘシ

第十六條 聽講生ニハ試験ヲ行ハス

附 則

本規程ハ昭和十四年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

附 則

○理學部規程 第四章 試驗 第五章 聽講生

本改正規程ハ昭和十六年十一月一日ヨリ之ヲ施行ス

現ニ在學セル學生ニ對シテハ新舊學科課程及試験科目ニ付適宜斟酌ヲ加フ 但シ昭和十四年入學學生
 中昭和十六年度ニ於テ學士試験ニ合格セサル者ニ對シテハ舊規程ヲ適用シ新規程ニ依リ學士試験ヲ受
 ケントスル者アルトキハ願ニ依リ教授會ノ議ヲ經テ之ヲ許可スルコトアルヘシ

學科課程(第六條別表)

物理學科

科目	學年		必修科目
	第一學期	第二學期	
物理學實驗第一	二回	二回	每週時
	二回	二回	
物理學實驗第二	二回	二回	每週時
	二回	二回	
物理學實驗第三	二回	二回	每週時
	二回	二回	
物理學實驗第四	二回	二回	每週時
	二回	二回	
微分學及積分學	二回	二回	每週時
	二回	二回	
微分方程式	二回	二回	每週時
	二回	二回	
力學	二回	二回	每週時
	二回	二回	
電氣學	二回	二回	每週時
	二回	二回	
熱學及統計力學	二回	二回	每週時
	二回	二回	
物理學實驗第一	二回	二回	每週時
	二回	二回	
物理學實驗第二	二回	二回	每週時
	二回	二回	
物理學實驗第三	二回	二回	每週時
	二回	二回	
物理學實驗第四	二回	二回	每週時
	二回	二回	
原子物理學	二回	二回	每週時
	二回	二回	
量子力學	二回	二回	每週時
	二回	二回	
物理學輪講	一回	一回	每週時
	一回	一回	
選擇科目			每週時
數值計算及最小自乘法	二回	二回	每週時
	二回	二回	
幾何演習	二回	二回	每週時
	二回	二回	
化學通論	二回	二回	每週時
	二回	二回	
ヴエソクトル解析	二回	二回	每週時
	二回	二回	
應用光學	二回	二回	每週時
	二回	二回	

科目	學年		必修科目
	第一學期	第二學期	
物理學實驗第一	二回	二回	每週時
	二回	二回	
物理學實驗第二	二回	二回	每週時
	二回	二回	
物理學實驗第三	二回	二回	每週時
	二回	二回	
物理學實驗第四	二回	二回	每週時
	二回	二回	
微分學及積分學	二回	二回	每週時
	二回	二回	
微分方程式	二回	二回	每週時
	二回	二回	
力學	二回	二回	每週時
	二回	二回	
電氣學	二回	二回	每週時
	二回	二回	
熱學及統計力學	二回	二回	每週時
	二回	二回	
物理學實驗第一	二回	二回	每週時
	二回	二回	
物理學實驗第二	二回	二回	每週時
	二回	二回	
物理學實驗第三	二回	二回	每週時
	二回	二回	
物理學實驗第四	二回	二回	每週時
	二回	二回	
原子物理學	二回	二回	每週時
	二回	二回	
量子力學	二回	二回	每週時
	二回	二回	
物理學輪講	一回	一回	每週時
	一回	一回	
選擇科目			每週時
數值計算及最小自乘法	二回	二回	每週時
	二回	二回	
幾何演習	二回	二回	每週時
	二回	二回	
化學通論	二回	二回	每週時
	二回	二回	
ヴエソクトル解析	二回	二回	每週時
	二回	二回	
應用光學	二回	二回	每週時
	二回	二回	

○理學部規程 學科課程表(物理學科)

○温泉治療學研究所研究生規程

二八四

第一條 本研究所ニ於テ温泉治療學ニ關スル事項ヲ研究セントスル者アルトキハ設備ニ差支ナキ限り研究生トシテ之ヲ許可ス

第二條 研究生タラントスル者ハ左ノ資格ノ一ヲ有スル者ニ限ル

一、醫師又ハ醫師タルノ資格ヲ有スル者

二、大學令ニ依ル大學又ハ專門學校令ニ依ル學校ニ於テ關係學科ヲ修メ卒業シタル者及之ト同等以上ノ學力アリト認メタル者

第三條 研究生タラントスル者ハ願書ニ研究事項ヲ具シ履歷書ヲ添ヘ所長ニ願出ツヘシ

第四條 研究生ノ研究スヘキ事項ハ所長ノ承認ヲ經タルモノニ限ル

第五條 研究生ノ研究ハ所長ノ指定シタル所員之ヲ指導監督ス

第六條 研究生ノ研究期間ハ二ケ年以内トス

前項ノ期間ヲ過キ尙研究ヲ繼續セントスル者ハ更ニ願出ツヘシ

第七條 研究生ハ其ノ研究成績ヲ指導所員ヲ經テ所長ニ差出スヘシ其ノ時期ハ指導所員之ヲ指定ス

第八條 研究生ニシテ其ノ研究業績ヲ發表セントスルトキハ指導所員ノ承認ヲ經テ所長ノ許可ヲ受クヘシ

第九條 研究生ハ研究費トシテ毎月金拾圓ヲ前納スヘシ

既納ノ研究費ハ之ヲ還付セス

第十條 研究ニ要スル材料、雜品及藥品等ハ研究生ノ自辨トス

第十一條 研究生ニシテ相當ノ研究ヲナシタリト認ムル者ニハ所長ノ證明書ヲ授與スルコトアルヘシ

第十二條 研究生退所セントスルトキハ所長ニ願出ツヘシ

第十三條 研究費ヲ納付セサル者、體面ヲ汚シタル者、研究ヲ怠ル者、又ハ疾病其他ノ事故ニ因リ研究ノ目的ヲ達成スルコト能ハスト認メタル者ハ退所セシム

附 則

本規程ハ昭和七年十一月一日ヨリ之ヲ施行ス

九州帝國大學臨時附屬醫學專門部學則

第一章 總 則

第一條 臨時附屬醫學專門部ハ醫學ニ關スル學術ヲ授クル所トス

第二條 修業年限ハ四箇年トス

第二章 學科課程

第三條 學科目及其ノ每週教授時間數左ノ如シ

學 科 目	第一學年		第二學年		第三學年		第四學年	
	第一學期	第二學期	第一學期	第二學期	第一學期	第二學期	第一學期	第二學期
修 身	一	一	一	一	一	一	一	一
外 國 語	三	三						
數 學 及 物 理 學	三							
生 物 學 (又ハ動植物學)	一、五							
解 剖 學	一〇	四						

外 科 學	內 科 學	法 醫 學	衛 生 學	細 菌 學		藥 物 學		病 理 學		化 學 及 醫 化 學		生 理 學	
				實 習	講 義	實 習	講 義	實 習	講 義	實 習	講 義	實 習	講 義
										六		四	三
				一				五		六		八	七
	六	二	四五	六	四	四	六						
六	七	二	二		四								
一〇	七												
七	七												
六	七												

○九州帝國大學臨時附屬醫學專門部學則

學科 科目	第一學年		第二學年		第三學年		第四學年	
	第一學期	第二學期	第一學期	第二學期	第一學期	第二學期	第一學期	第二學期
產婦人科學				三	三	一、五	一、五	
眼科				一、五	四、五	一	一	
耳鼻咽喉科學				一	一	一、五	一、五	
皮膚科學				一	一	一	一	
泌尿器科學				一	一	一	一	
小兒科學				一	一	一	一、五	
精神病學				一	一	一	一	
齒科口腔外科學						一	一	
各科外來患者臨床講義						12	18	
軍陣醫學							隨時	
醫事法制							隨時	
社會衛生學							隨時	
體操及教練	二	二	二	二	二	二	二	二

計	三三、五	三七	三五、五	三三、五	三二、五	三八	四三、五	三
---	------	----	------	------	------	----	------	---

備考

教授上特別ノ必要アルトキハ學科目又ハ其ノ教授時間數ノ配當ヲ變更シ或ハ教授定時間外若ハ休業期間ニ於テ臨時講演ヲ開カシメ又ハ實習ヲ課スルコトアルベシ

第三章 學年、學期及休業

第四條 學年ハ四月一日ニ始マリ翌年三月三十一日ニ終ル

第五條 學期ヲ分チテ左ノ二學期トス

第一學期 自四月一日起至九月三十日

第二學期 自十月三十一日起至三月三十一日

第六條 休業日左ノ如シ

大祭日
祝日
日曜日

○九州帝國大學臨時附屬醫學專門部學則

大學記念日

春季休業 〔自三月二十五日
至三月三十一日〕
夏季休業 〔自八月二十一日
至八月二十日〕
冬季休業 〔自十二月二十五日
至翌年一月七日〕

第四章 入學及在學

第七條 入學期ハ每學年ノ始メトス

第八條 本專門部ニ入學シ得ル者ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル者タルコトヲ要ス

一、中學校卒業者

二、專門學校入學者檢定規程ニ依リ無試験檢定ノ指定ヲ受ケタル者

三、專門學校入學者檢定規程ニ依リ試験檢定ニ合格シタル者

第九條 入學志願者ノ數入學セシムヘキ人員ニ超過シタルトキハ學業、身體及人物性行等ニ付選抜試験ヲ行フ選抜試験ノ方法ハ其ノ都度之ヲ定ム

入學志願者ノ數入學ヲ許可スヘキ人員ニ充タサルトキハ銓衡ノ上入學ヲ許可スルコトアルヘシ

第十條 入學志願者名票ニ卒業證書ノ寫(又ハ卒業見込證明書若ハ合格證書ノ寫)

寫眞及入學考査料金五圓ヲ添ヘ本專門部ヘ提出スヘシ

第十一條 入學ヲ許可セラレタル者ハ保證人連署ノ在學證書ニ戶籍謄本及入學料金參圓ヲ添ヘ提出スヘシ

第十二條 第二學年以上ニ缺員アリタルトキハ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ニ付入學ヲ許可スルコトアルヘシ

一、高等學校高等科卒業者及大學豫科修了者ニシテ銓衡セラレタル者

二、第八條ニ該當スル者ニシテ前各學年修了程度ニ依リ行フ編入試験ニ合格シタル者

第十三條 前條ノ入學ニ關シテハ第七條乃至第十一條ヲ準用ス

第十四條 退學セシ者再入學ヲ願フトキハ銓議ノ上之ヲ許可スルコトアルヘシ

再入學ノ時期ハ第七條ニ依ルモノトス

第十五條 一旦納付シタル入學考査料ハ如何ナル理由アルモ之ヲ還付セス

第十六條 入學ヲ許可セラレタル者ハ現住所ヲ入學後一ヶ月以内ニ届出ツヘシ

第十七條 本人及保證人ノ身分上ノ移動並住所ノ變更アリタルトキハ直ニ届出ツヘシ

○九州帝國大學臨時附屬醫學專門部學則

第五章 缺席、休學及退學

第十八條 缺席スル者ハ理由ヲ具シ届出ツヘシ

缺席七日以上ニ亘ルトキハ保護人連署ヲ以テ届出ツヘシ但シ病氣ノ場合ハ醫師ノ診斷書ヲ添付スルヲ要ス

第十九條 病氣又ハ已ムコトヲ得サル事故ニ因リ三箇月以上修學スルコト能ハサル見込ノ者ハ願ニ依リ當該學年間休學ヲ許可スルコトアルヘシ但シ休學中ト雖モ復學ヲ願出テタル者ハ之ヲ許可スルコトアルヘシ

第二十條 陸軍又ハ海軍ノ現役ニ服シ又ハ召集ニ應スル者ハ其ノ服役又ハ召集ノ間休業トス

第二十一條 休學ノ事由止ミタルトキハ原學年ニ復學セシム

第二十二條 退學セントスル者ハ其ノ理由ヲ詳記シ保證人連署ヲ以テ願出テ許可ヲ受クヘシ

第二十三條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ之ニ退學ヲ命ス

- 一、性行不良ニシテ改善ノ見込ナシト認メタル者
- 二、學力劣等ニシテ成業ノ見込ナシト認メタル者
- 三、二回繼續シテ落第シタル者

四、引續キ一箇年以上缺席シタル者

五、正當ノ事由ナクシテ引續キ一箇月以上缺席シタル者

六、出席常ナラサル者

第六章 授業料

第二十四條 授業料ハ一學年金八拾圓トシ左ノ通納付セシム

第一期授業料 金四拾圓 自四月十一日 至四月二十五日

第二期授業料 金四拾圓 自十一月十一日 至十一月十日

第二十五條 既納ノ授業料ハ何等ノ理由アルモ還付セス

第二十六條 授業料ヲ納付期間内ニ納付セサル者ハ登校ヲ禁止ス

第二十七條 缺席又ハ休學期間ト雖モ授業料ハ減免セス但シ第二十條ノ休學期ニハ其ノ期間月割ヲ以テ之ヲ免除ス

第二十八條 學費ノ支辨極メテ困難ナル生徒中成績優良ニシテ品行方正ナル者ニ對シ授業料ヲ減額又ハ免除スルコトアルヘシ

第二十九條 退學者ト雖モ當該學期ノ授業料ハ之ヲ納付セシム

○九州帝國大學臨時附屬醫學專門部學則

第三十條 特別ノ理由アリテ成規ノ卒業成績考査ヲ受ケ得スシテ追試験ヲ許サレタル者ノ授業料ハ之ヲ徴セス

第七章 賞 罰

第三十一條 本専門部生徒ニシテ學術性行優良ナル者ハ之ヲ表彰スルコトアルヘシ

第三十二條 學則並諸規程ニ違背シタル者及生徒ノ本分ニ悖ル行爲アリト認メタル者ハ其ノ輕重ニ從ヒ之ヲ懲戒ス

懲戒ハ之ヲ分チテ戒飭、停學及放校トス

第八章 試験、進級及卒業

第三十三條 試験ハ學期試験及卒業試験トス

第三十四條 學期試験ハ各學期ノ終ニ於テ當該學期中ニ履修シタル學科目ニ付之ヲ行フ

第三十五條 實習ハ擔任教官ノ意見ニヨリ試験ヲ施行セスシテ其ノ成績ヲ定ムルコトアルヘシ

第三十六條 各學科目ノ學科成績ハ學期試験ノ成績、勤惰及操行ヲ考査シテ之ヲ定ム
考査ノ方法並採點ノ標準ハ別ニ之ヲ定ム

第三十七條 學年成績ハ各學期成績ノ平均ニ依ル

第三十八條 學年成績所定ノ標準以上ノ者ニ限リ進級セシム

第三十九條 所定ノ授業日數ノ三分ノ一以上授業ヲ受ケサル者ハ學年成績ノ如何ニ拘ラス原級ニ止ム

第四十條 疾病又ハ已ムヲ得サル事由ニ因リ試験定日ニ出席シ難キトキハ其ノ旨ヲ具シ保證人連署ノ上届出ツヘシ但シ疾病ニ因ル場合ハ醫師ノ診斷書ヲ添フルコトヲ要ス

第四十一條 學期試験ニ缺席シタルモノニシテ事情已ムヲ得サル者ト認ムル者ニ限リ次學期ノ始メニ追試験ヲ受ケシムルコトアルヘシ

第四十二條 卒業試験ハ第四學年ノ終ニ於テ左ノ學科目ニ關シ學說及實地ニ付之ヲ行フ

內科學、外科學、整形外科學、産婦人科學、眼科學、耳鼻咽喉科學、皮膚科學、泌尿器科學、小兒科學、精神病學

第四十三條 卒業試験ニ缺席シタル者ニ對シテハ前條ノ試験期間中ニ於テ適宜日時ヲ定メ追試験ヲ行フコトアルヘシ

第四十四條 卒業試験ノ受験期間中ニ受験スルコト得サリシ學科目又ハ不合格トナリタル學科目アルタメ卒業シ得サル者ニ對シテハ次學年度ノ七月以降ニ於テ當該學科目ニ付更ニ試験ヲ行フ

第四十五條 學年成績所定標準以上ニシテ卒業試験ニ合格シタル者ニハ所定ノ卒業證書ヲ授與ス

第四十六條 本專門部卒業者ハ九州帝國大學附屬醫學專門部醫學士ト稱スルコトヲ得

附 則

本學則ハ昭和十四年五月十五日ヨリ之ヲ施行ス

二九六

○臨時附屬醫學專門部商議委員會規程

第一條 九州帝國大學臨時附屬醫學專門部商議委員會ハ專門部ニ關スル重要ナル事項ヲ協議ス

第二條 商議委員會ハ九州帝國大學臨時附屬醫學專門部主事及同商議委員ヲ以テ組織ス

第三條 商議委員ハ醫學部長、附屬醫院長及醫學部教授二名ヲ以テ之ニ充テ教授タル委員ハ醫學部長

ノ推薦ニヨリ總長之ヲ命シ其ノ任期ヲ二年トス

第四條 商議委員會ハ專門部主事之ヲ召集シ其ノ議長トナル

第五條 商議委員會ハ商議委員半數以上出席スルニ非サレハ之ヲ開クコトヲ得ス

第六條 專門部主事ハ必要アル場合ニ於テハ商議委員以外ノ本學職員ニ列席ヲ求ムルコトヲ得

附 則

本規程ハ昭和十五年一月二十日ヨリ之ヲ施行ス

○各部ノ敷地及建物

本 部 工學部構内ニ在リ建物ハ煉瓦造建坪四百五十二坪餘延坪千九坪餘鐵筋コンクリート造建坪三十六坪餘延坪百八坪餘木造建坪四百七十三坪延坪五百三十九坪餘アリ

醫學部 敷地ハ福岡縣福岡市ニ在リ其ノ面積合計九萬八千四百四十六坪餘内官有地ノ組替及購入ニ係ルモノ六萬八千八百九十五坪餘民有地ノ福岡縣寄附ニ係ルモノ二萬九千五百五十一坪以上總面積現在ノ價格二百九十五萬三千三百九十八圓餘建物ハ煉瓦造建坪七百十九坪延坪七百七十五坪鐵筋コンクリート造建坪五千百十坪餘延坪一萬五千六百六十九坪餘木造建坪一萬三千六百九十九坪餘延坪一萬五千五百五十七坪餘ニシテ内鐵筋コンクリート三階建延坪五十二坪價格一萬三千六百七十六圓ハ本學名譽教授久保猪之吉、木造平家建八十七坪餘價格一萬三千九百四十九圓餘ハ同名譽教授伊藤祐彦、木造二階及平家建四十八坪餘價格七千四百二十九圓餘ハ牛尾量一外七名ノ寄附ニ係ルモノナリ

醫學部附屬醫院生ノ松原分院 福岡縣福岡市姪ノ濱町字生ノ松原ニ在リ敷地ハ早良演習林ノ一部ヲ組替タルモノニシテ此ノ面積五千五百八十五坪價格一萬七千八百七十二圓餘建物ハ木造平家建四百九坪餘内八十一坪價格一萬四千四百七十九圓ハ福岡市姪ノ濱町ヨリ、四十七坪餘價格四千九百七十五圓

○各部ノ敷地及建物

二九七

ハ早良郡壹岐村ヨリノ寄附ニ係ルモノナリ

工學部 敷地ハ福岡縣福岡市大字箱崎ニ在リ合計五萬九千五百十九坪餘ニシテ内五萬五坪餘及創立費二十五萬圓ハ福岡縣ノ寄附ニ係リ九千五百十三坪餘ハ國有林ノ組替ニ係ル總面積現在ノ價格ハ百三十六萬八千九百四十五圓餘建物ハ現在煉瓦造建坪千九百八十坪餘延坪二千七百十六坪餘鐵筋コンクリート造建坪千八百五十一坪餘延坪五千三百五十三坪餘鐵骨造百三十三坪餘木造建坪三千五百八十五坪餘延坪四千四百二十八坪餘ナリ「創設ノ當初古河虎之助ノ寄附金六十萬八千五百圓ヲ以テ建築シタル煉瓦造本館外七棟木造二分館外十棟此ノ總建坪二千八百八十七坪餘ノ内二百五十九坪ハ明治四十四年七月、二十坪ハ大正四年十二月、千二百二十三坪ハ大正十二年十二月各火災ニ罹リ消失セリ然ルニ大正十三年十月同人ヨリ更ニ銅板千四百貫匁、セメント五千樽此ノ價格三萬圓ノ寄附アリ之ヲ以テ大正十二年消失建物中ノ煉瓦、石材ノ燒殘材料ニシテ尙使用ニ堪エ得ルモノヲ以テ煉瓦造建坪四百五十二坪延坪千九坪餘ノ二階建ノ實驗室ヲ建築セリ」

農學部 敷地ハ工學部ノ敷地ニ接續シ其ノ面積合計四萬九千八十三坪餘ニシテ内一萬二千八百六十一坪ハ元寄宿舎用地ヲ編入シ二萬三千九百二十九坪餘ハ國有林ノ組替ニ係リ一萬二千六百六十七坪餘ハ民有地購入其ノ他ニ本學敷地ト内務省廢道敷地所管換及箱崎町有地ト交換等ニ依リ百二十五坪餘増

加シタルモノニシテ此ノ總坪數ノ現在ノ價格ハ八十八萬三千四百九十七圓餘ナリ是等ノ敷地及附屬農場購入費並ニ建物新築費等ノ創設ニ要セシ經費中金百三十五萬圓ハ福岡縣ノ寄附ニ係ルモノナリ建物ハ煉瓦造建坪百三十坪餘延坪百九十坪餘鐵筋コンクリート造建坪七百四十二坪餘延坪千七百四十坪餘木造建坪三千五百七十七坪餘延坪五千五十三坪餘鐵筋ブロック造建坪百二十六坪餘延坪百五十一坪餘鐵骨造百四十三坪餘ナリ

法文學部 敷地ハ工學部ノ敷地ニ隣接シ其ノ面積三千五百七十七坪餘全部民有地ヲ購入セシモノニシテ此ノ現在ノ價格ハ十一萬二千五百七十二圓餘ナリ建物ハ鐵筋コンクリート造建坪九百八坪餘延坪三千二百八十坪餘木造二十二坪餘ナリ

理學部 敷地ハ工學部敷地五千七百二十坪供用建物ハ木造建坪六百十三坪餘ナリ外ニ工學部建物建坪五百九十七坪餘農學部建物建坪四百七十五坪供用中ナリ

○ 圖 書 館

本學附屬圖書館ハ工學部及法文學部敷地ノ中間ニ在リ鐵筋コンクリート二階建延坪三百二十七坪餘ニシテ一階ヲ自由閱覽室、指定閱覽室及會議室ニ二階ヲ教官閱覽室及一般閱覽室ニ充ツ書庫ハ四階建延

坪四百八坪、新聞閱覽室ハ地階付延坪四十一坪餘、事務室ハ地階付延坪百三十八坪ナリ

昭和十七年三月三十一日現在ニ於ケル本館藏書（醫、工、農學部及附屬醫院所在ヲ除ク）ハ

和漢書 一三三三、八三四冊
 洋書 一五七、九〇七冊
 計 三九一、七四一冊

新聞雜誌類七四八種ニシテバルト文庫、シュツンプ文庫、ロートマル文庫、グロリス文庫、音無文庫、萩野文庫、碩水文庫等ヲ藏置ス寄託圖書ニ廣瀬文庫（和漢書九、六四一冊洋書一〇七冊計九、七四八冊）、松濤文庫（和漢書一五、七〇三冊）、スペンサー文庫（洋書六七四冊和漢書九二冊計七六六冊）ヲ有ス

昭和十七年三月三十一日現在ニ於ケル本學藏書ハ

和漢書 三三七、六七一冊
 洋書 三五五、五九七冊
 計 六九三、二六八冊

内譯

部局別	種別	藏書冊數		計
		和漢書	洋書	
醫學部	醫學部	一六、九七五	三六、四四六	五三、四二一
工學部	工學部	二五、八七五	七一、六三四	九七、五〇九
農學部	農學部	二八、七〇四	四〇、七四七	六九、四五一
法文學部	法文學部	一一四、五七八	一二四、二八九	二三八、八六七
理學部	理學部	二、七三六	八、四〇五	一一、一四一
附屬醫院	附屬醫院	三二、二八三	四八、八六三	八一、一四六
圖書部	圖書部	一一六、五二〇	二五、二一三	一四一、七三三
計	計	三三七、六七一	三五五、五九七	六九三、二六八

昭和十六年六月一日ヨリ同十七年五月三十一日マテノ閉館日數三百九日間ニ於ケル閱覽人員及閱覽冊數左表ノ通り

圖書閱覽人員表 (其ノ一)

職員	學生						特別許可 閱、覽者	計
	醫學部	工學部	農學部	法文學部	理學部	專門部		
二九	一、〇六六	一、八八三	一、〇九三	一五、一三三	三〇〇	九三	四五六	二、〇一九

圖書閱覽人員表 (其ノ二)

月別	摘要 日數	閱覽人員						計	一日平均
		醫學部 學生	工學部 學生	農學部 學生	法文學部 學生	理學部 學生	醫學專門 部學生		
昭和十六年 六月	二九	一四	一六	三六	一七	二〇	三三	二、八七三	九九・〇
七月	二七	九	五	八	三	四	二〇	七六	二八・七
八月	二六	一	四	六	一	二	一〇	一〇三	二二・八
九月	二五	七	九	六	八	五	三〇	一、八三三	六七・四
十月	二八	一九	一五	二二	一六	六	一七	二、三六八	八四・六
十一月	二七	九	一三	一九	八	七	二九	二、一五二	七九・七
十二月	二〇	五	七	一〇	五	八	一六	一、三〇一	五五・一

昭和十七年 一月	二月	三月	四月	五月	計
二六	二五	三〇	二五	二九	三〇九
二二	二七	二四	二七	二四	二二二
六六	九九	八七	六六	六六	一、〇六六
一五八	二二五	二二二	二二〇	二〇九	一、八八三
七二	一七三	六二	九二	一三三	一、〇九五
一、〇七〇	一、四七二	六九四	一、一八一	二、四六〇	一、五、一三三
三三	三九	三三	六二	四〇	三三〇
八八	二二五	一一三	八三	一〇〇	九二二
三五	六六	六〇	四三	三八	四五六
一、五〇四	二、一八五	一、一九五	一、六六五	三、〇〇〇	三、〇一九
五七・八	八七・四	三九・八	六六・六	一〇六・二	六八・〇

閱覽圖書冊數表

種別	部門	總書	哲		宗		教		政		法		社		經		文		語		藝		地		理		自		醫		計
			育	教	育	治	律	經	濟	學	學	術	史	產	業	學	計														
和漢書		四、七五二	三、三三五	九、六〇〇	七、〇〇一	六、八四七	一、二二六	四、二五九	五、五九六	三、四九八	四、五、九五三																				
洋書		四、七七七	三、三三六	九、七七七	七、一九三	八、六五七	四、三七〇	五、七八八	三、九四九	四、七、八五七																					
計		四、七七七	三、三三六	九、七七七	七、一九三	八、六五七	四、三七〇	五、七八八	三、九四九	四、七、八五七																					

自昭和十六年六月一日
至昭和十七年五月三十一日
閱覽冊數 四七、八五七冊
閱覽人員 二二、〇一九人
一人當り 二、三冊ノ割

○圖書館

○印刷所

印刷所ハ工學部構内ニ在リ建物ハ煉瓦造四坪木造建坪百十八坪餘延坪百六十九坪餘ニシテ大正十一年四月之ヲ設置シ活版部(和文(字體ハ明朝)・歐文(字體ハオールドスタイル、ニニースタイル)、寫真石版部(石版及ジント版、青寫真レクテグ)ノ二部ヲ置キ大正十五年七月製本部ヲ追加シテ三部トナシ其ノ活版部ニハ四六版、菊判印刷機、舶來フット機及昭和二年九月九ポイントモノタイプ等ヲ、寫真石版部ニハ各種寫真撮影機及石版印刷機米國製レクテグラフ、同青寫真機等ヲ、製本部ニハ各種紙締機及裁斷機等ヲ設備シ各局部ノ需要ニ應スルモノトス

○臨海實驗所

臨海實驗所ハ從前福岡縣宗像郡津屋崎町ニ在リシモ昭和三年四月本學研究ノ都合上之ヲ熊本縣天草郡富岡町へ移ス從前ノ津屋崎町ニ在リシ臨海實驗所跡地及建物ハ全部寄附者タリシ津屋崎町へ無償讓與シ新ニ設置セル天草臨海實驗所ハ其ノ敷地面積二萬千五百四十二坪此ノ價格ハ二千三百六十九圓餘ニシテ敷地ハ全部富岡町ノ寄附ニ係ルモノナリ建物ハ木造建坪二百二十三坪餘延坪二百五十八坪餘鐵筋コンクリート造六坪ナリ

○生物學研究所

生物學研究所ハ福岡縣田川郡添田町大字英彦山ニ在リ其ノ敷地面積一萬七十坪此ノ價格ハ一萬二千八十四圓ニシテ男爵高千穂宣磨ノ寄附ニ係ルモノナリ建物ハ木造平家建九十六坪餘ニシテ中山悅治(大阪市大正區船町)ノ寄附ニ係ルモノナリ

○醫學部附屬醫院

醫學部附屬醫院ハ明治三十六年四月元京都帝國大學福岡醫科大學ノ附屬トシテ創立セラレ建物ハ元福岡縣立病院ヲ襲用シ爾來年々營繕修理ヲ加ヘタルモ大學醫院トシテノ設備ヲ完フスルニ幾多ノ不便アルヲ以テ各科漸ヲ追フテ新築、分離移轉スルコトニ決シ皮膚科、泌尿器科、耳鼻咽喉科、精神科、小兒科、婦人科產科、眼科、友田外科、藥局ノ新築ヲ落成セルニ偶々大正十四年八月一部火災アリ爾來火災防止上ノ必要ニ鑑ミ從來ノ木造建築ヲ改メテ鐵筋コンクリート造トシ十年繼續事業トシテ石山外科、小野寺内科、楠内科、操内科、整形外科、齒科口腔外科及看護婦寄宿舍、調理所、洗濯所、事務室等中央建物ヲ復舊並ニ新營スルコト、シ昭和十二年三月ヲ以テ之ヲ完成シ通路ノ改善等ト相俟テ其

○印刷所 ○臨海實驗所 ○生物學研究所 ○醫學部附屬醫院

ノ面目ヲ一新スルニ至レリ

附屬醫院ヲ小野寺内科、楠内科、操内科、婦人科産科、小兒科、石山外科、友田外科、整形外科、皮膚科、泌尿器科、精神科、眼科、耳鼻咽喉科、齒科口腔外科、放射線治療科ノ十五臨床科ニ分チ別ニワ氏血液反應試驗室、黄疽出血性「スピロヘータ」病血清製造室、顯微鏡寫眞室、看護員養成科及産婆養成科ヲ置ク外ニ藥局及事務室アリ

大正十三年八月六日早良郡姪ノ濱町（現在福岡市姪ノ濱町）ニ内科分院ヲ設置シ生ノ松原分院ト稱シ附屬醫院長之ヲ監督ス

昭和三年三月十五日ヨリ健康保險被保險者ノ診療ヲ開始ス

昭和七年四月七日ヨリ勞働者災害扶助責任保險被保險者ノ診療ヲ開始ス

昭和十三年九月十一日ヨリ軍事扶助法ニ因リ醫療扶助ヲ受クル者及其ノ他ノ應召軍人遺家族ノ診療ヲ開始ス

昭和十五年五月一日ヨリ國民健康保險組合被保險者ノ診療ヲ開始ス

昭和十六年一月一日ヨリ文部部内政府職員共濟組合員ノ診療ヲ開始ス

昭和十六年六月一日ヨリ教職員共濟組合員ノ診療ヲ開始ス

昭和十七年二月一日ヨリ内務職員共濟組合員ノ診療ヲ開始ス

昭和十七年四月一日ヨリ司法部政府職員共濟組合員ノ診療ヲ開始ス

外來患者延人員表

科別	區分					計	合
	婦人科産科	内科計	小野寺内科	楠内科	操内科		
官費	0	60	59	1	0	120	新來患者
健康保險	1	143	45	56	42	387	
災害保險	0	0	0	0	0	0	
國民保險	2	45	22	9	14	82	
軍扶家	0	25	10	6	9	50	
文部共濟	0	23	6	10	7	46	
教職共濟	1	3	1	1	1	6	
私費	3,783	9,981	3,955	3,120	2,906	13,745	再來患者
計	3,787	10,280	4,098	3,203	2,979	14,247	
官費	0	82	26	12	44	164	
健康保險	31	1,074	226	419	429	2,179	
災害保險	0	5	0	3	2	10	
國民保險	0	154	21	25	108	308	
軍扶家	11	316	18	191	107	643	
文部共濟	0	78	7	31	40	156	
教職共濟	0	11	6	3	2	22	
私費	5,355	8,605	2,382	2,947	3,276	14,565	計
計	5,397	10,325	2,686	3,631	4,008	16,027	
計	9,184	20,605	6,784	6,834	6,987	30,274	

補 内 科	操 内 科	科 別 區 分	
		員定日一	定 員
75	75	年ヶ一 員定延	員
27,375	27,375		
6,052	5,862	費官	入 院 患 者 延 人 員
733	952	險保康健	
0	0	險保害災	
52	397	險保民國	
1,186	2,227	家軍扶軍	
26	282	濟共部文	
7	0	濟共職教	
0	0	濟共府政	
21,479	21,684	費私	
29,535	31,404	計合	

入院患者延人員表

計	生ノ松原分院	放射線治療科	齒科口腔外科
1,087	0	0	929
484	24	2	13
4	1	0	1
115	0	3	6
107	4	1	6
63	0	2	25
30	0	3	8
39,721	1,253	1,477	1,675
41,611	1,282	1,488	2,663
14,835	0	0	11,682
4,900	202	20	106
18	2	0	1
781	0	0	140
3,007	57	2	125
602	0	2	259
211	0	2	34
117,761	6,583	8,101	9,840
142,115	6,844	8,127	22,187
183,726	8,126	9,615	24,850

耳鼻咽喉科	眼科	精神科	泌尿器科	皮膚科	整形外科	外科計	友田外科	石山外科	小兒科
4	1	1	4	49	4	35	15	20	0
93	15	9	10	38	58	76	44	32	2
0	0	0	0	0	1	1	0	1	0
0	7	1	1	7	20	16	4	12	7
10	10	4	0	16	13	9	5	4	9
0	0	0	1	4	3	4	1	3	1
0	2	1	0	3	8	1	1	0	0
3,451	2,481	1,527	898	3,082	3,447	3,226	1,782	1,444	3,440
3,558	2,516	1,543	914	3,199	3,554	3,368	1,852	1,516	3,459
26	1,163	16	338	1,254	3	268	45	223	3
1,112	629	37	288	767	257	377	208	169	0
0	2	1	0	3	0	4	1	3	0
0	119	3	9	97	149	61	45	16	49
230	339	24	637	442	575	172	92	80	77
0	2	7	3	175	14	55	20	35	7
2	15	4	3	99	12	29	21	8	0
13,318	19,283	2,384	5,861	16,294	11,347	4,984	3,240	1,744	5,806
14,688	21,552	2,476	7,139	19,131	12,357	5,950	3,672	2,278	5,942
18,246	24,068	4,019	8,053	22,330	15,911	9,318	5,524	3,794	9,401

農學部附屬農場ハ福岡縣糟屋郡仲原村内ニ位置シ後栗線原町驛ヨリ西方十數丁ノ地ニ在リ總面積二十

○農學部附屬農場、附屬演習林

三一

農學部附屬農場

○農學部附屬農場、附屬演習林

計	生ノ松原分院	放射線治療科	齒科口腔外科	耳鼻咽喉科	眼科	精神科
885	20	45	16	68	38	83
323,025	7,300	16,425	5,840	24,820	13,870	30,295
49,445	0	3,258	81	2,670	1,493	10,921
7,338	24	0	213	738	574	93
224	0	0	0	0	0	0
3,107	0	0	6	233	306	52
19,776	999	1,050	237	1,422	368	2,386
968	0	0	0	199	0	0
1,540	0	12	18	104	12	13
30	0	0	0	0	0	0
276,883	4,783	22,521	6,113	22,094	12,311	24,146
359,311	5,806	26,841	6,668	27,460	15,064	36,981

泌尿器科	皮膚科	整形外科	外科計	友田外科	石山外科	小兒科	婦人科產科	内科計	小野寺内科
33	15	86	146	73	73	41	69	225	75
12,045	5,475	31,390	53,290	26,645	26,645	14,965	25,185	82,125	27,375
886	937	2,827	3,714	1,371	2,343	3,469	2,847	16,972	5,058
254	0	895	2,442	1,041	1,401	0	159	1,946	261
0	0	203	21	0	21	0	0	0	0
102	36	285	734	364	370	63	499	791	342
473	354	1,975	3,549	1,783	1,766	441	2,299	4,223	810
21	0	32	335	54	281	18	55	308	0
0	73	147	380	86	294	160	241	380	373
0	0	0	21	21	0	0	9	0	0
8,067	4,905	24,676	42,286	21,676	20,610	11,840	25,791	67,350	24,187
9,803	6,305	31,040	53,482	26,396	27,086	15,991	31,900	91,970	31,031

三一〇

八町二畝七分五合四勺ニシテ耕地ノ大部分ハ之ヲ直營シ一部ハ之ヲ貸付シ專ラ教授ノ研究並ニ學生ノ實驗實習ノ用ニ供ス今土地利用ノ現況ヲ示セハ左ノ如シ

一、耕地 二十町六反五畝三步

直營地 四町八畝二十五步 貸付地 六町五反一畝三步

田 農業工學 三畝十二步

計 十町六反三畝十步

普通作物圃 一町七畝十七步五合 果樹園 一町九反八畝二十一步

蔬菜園 一町四反七畝十八步 飼料作物圃 三町八反一畝二十一步五合

桑園 一町四反七畝三步 共ノ他 一反九畝二步

計 十町一畝二十三步

二、建物 敷地 三町一反六畝二十七步四合

三、山 林 三反一畝二十七步

四、池 二反二畝八步

五、道路溝渠堤防 三町六反六畝二步一合四勺

建物ハ事務所、作業室、收納舍、畜舍、家畜隔離舍、交配室、堆肥舍、定夫舍、車庫等木造八百九十
八坪餘、畜産製造室鐵筋ブロック造及木造四十五坪餘、温室六十五坪餘、貯藏庫鐵筋コンクリート建
三十坪餘、葡萄温室三十坪餘、メロン温室十四坪餘、合計千八十二坪餘ナリ

農學部附屬演習林

農學部附屬演習林ハ總テ七箇所ニシテ福岡縣下ニ在ルモノヲ早良演習林及糟屋演習林、朝鮮南部ニ在
ルモノヲ南鮮演習林、同北部ニ在ルモノヲ北鮮演習林、臺灣ニ在ルモノヲ臺灣演習林、樺太ニ在ルモ
ノヲ樺太演習林、宮崎縣下ニ在ルモノヲ宮崎演習林トシ其ノ面積通計四萬七千四百八十三町七反五畝
一步ナリ

農學部構内ニ演習林本部(建物百八坪七合五勺)ヲ置キ各演習林ヲ統轄ス

早良演習林 面積五十四町四畝二十五步、福岡縣福岡市姪ノ濱町及早良郡壹岐村ニ跨リ今津灣頭ノ一

角ヲ占メ防風保安林ナリ大正十一年十月農商務省ヨリ移管シ專ラ學術上ノ參考並ニ研究ニ供ス同演

習林内壹岐村ニ屬スル壹岐ノ松原ニ事務所(敷地三反步、建物三十坪七合五勺)ヲ置ク

糟屋演習林 面積三百七十町八反二步餘、福岡縣糟屋郡篠栗町、勢門村、久原村ノ一町二村ニ屬シ鹿

○農學部附屬農場、附屬演習林

兒島本線吉塚驛ヨリ分岐セル篠栗線ニ依ルトキハ數十分ニテ達スルヲ得ヘシ本林ハ主トシテ學生ノ研究竝ニ實習ニ供シ傍ラ模範的林业ノ經營ヲ爲スヲ以テ目的トス早良演習林ト共ニ大正十一年十月農商務省ヨリ移管セリ本林事務所及學生宿舍ヲ篠栗町大字高田、下ノ屋敷ニ置ク之カ敷地九百九十坪餘ニシテ建物ハ二百二坪餘ナリ尙事務所ニ近接シ經營上並ニ實習ニ資スル爲ニ二千八百九十坪ノ苗圃ヲ置ク

南鮮演習林 慶尙南道河東郡及山清郡ニ跨リ九州ヲ距ルコト海陸路ヲ通シテ僅ニ數十里ヲ出テス面積一萬七千二十九町二畝歩、大正元年十二月朝鮮總督府ヨリ貸付ヲ受ケタル智異山南方一帶ノ地ニシテ南鮮ト九州トノ森林植物帶上ノ關聯ヲ研究スルニ足ル學術上極メテ重要ナル森林ナリ地勢一般ニ急峻ニシテ國土保安竝ニ治水上重要ナル地域ナレハ專ラ林相ノ改善ト無立木地ノ植栽ヲ企畫シ大正九年管内ヲ山清、河東ノ二施業區ニ分チ河東郡河東面邑内ニ事務所（敷地四百五十三坪〔購入〕）建坪六十坪七合三勺六）ヲ、山清郡矢川面絲里ニ建坪四十坪、河東郡岳陽面ニ建坪四十坪、同花開面ニ建坪四十七坪ノ各作業所ヲ設置シ演習林經營上ノ便ヲ計レリ此ノ外河東郡岳陽面ニ一町六反一畝十六歩、花開面ニ五反三畝五歩、山清郡矢川面ニ四町九反三畝二十歩餘ノ民有地ヲ購入シ苗圃ニ充テ造林上ノ試験ヲ實行ス尙森林整理ニ必要ナル伐採ニヨリ地元住民ノ生業ヲ安固ナラシムル爲用材製炭材及副産物ヲ供給シツ、アリ

北鮮演習林 咸鏡北道茂山郡延上面、漁下面、西下面ノ三面ニ亘リ面積四千五百六十九町四反歩ニシテ大正十五年一月朝鮮總督府ヨリ之カ貸付ヲ受ケタルモノナリ本演習林ハ南鮮演習林ト相關聯シ森林ノ生態的推移竝ニ北鮮獨特ノ林业經營ヲ研究スルニ恰好ノ箇所ニシテ大正十五年施業計畫ヲ立テ合理的經營ニ着手セリ演習林保護ノ爲昭和二年十一月延上面ニ五百十八坪ノ土地ヲ購入シ木造平家建三十一坪五合ノ看守駐在所ヲ建築シ昭和九年八月苗圃事業用トシテ畑地二千三百九十七坪餘ヲ購入シ三十二坪八ノ宿舍及倉庫ヲ設ケ昭和十四年十二月貯木場敷地トシテ茂山郡茂山邑ニ於テ千二百九十四坪ノ土地ヲ購入シ昭和十五年十一月事務所其ノ他九十七坪八三四ヲ建設シ昭和十七年三月苗圃田地トシテ同郡漁下面ニ於テ六百二十二坪ノ土地ヲ購入セリ

臺灣演習林 臺北州文山郡石碇庄後坑仔溪流域ヲ占メ大正二年十二月千九百五十六町歩ヲ大正十四年十二月五十五町七反四畝十八歩ヲ臺灣總督府ヨリ讓渡セラレ合計面積二千一十一町七反四畝十八歩ヲ有ス本演習林内ニ四十一町九反八畝十五歩ノ茶園及一町四反二十二歩ノ水田ヲ開キ以テ林内殖民ヲ行ヒ林业經營上必要ナル勞働者ヲ養成スルト共ニ熱帶林业ノ經營ヲナシ併テ各種林业試験ヲ行フ所トス附屬苗圃一萬四千八百八十八坪ヲ有ス本演習林事務所ヲ同郡石碇庄後坑仔ニ置ク其ノ敷地五百

七十九坪ニシテ建物ハ四十六坪九合二勺ナリ

樺太演習林 樺太敷香郡敷香町大字保惠ニ在リ北樺太即チ露領ニ近キ幌内川支流「ホイエ」川流域ヲ占メ面積二萬五百五町步ヲ有ス大正三年三月樺太廳ヨリ移管セリ演習林事務所ヲ同郡同町大字敷香(敷地六百坪〔大正十四年三百坪、昭和二年三百坪樺太廳ヨリ移管〕建物九十一坪五合)ニ置キ同郡同町大字保惠(敷地ハ演習林内、建物百七十八坪)ニ作業所及職員並學生合宿所ヲ置キ經營保護ニ當リ又產物運搬貯藏竝ニ處分ノ便宜上貯木場ヲ同郡同町大字佐知(敷地六千坪〔大正十四年樺太廳ヨリ移管〕附屬建物六坪)ニ置キ同郡同町字東二條ニ學生宿舍兼所員合宿所敷地トシテ百五十一坪餘(昭和八年樺太廳ヨリ移管)アリ本演習林ハ寒帶原生林ノ經營竝ニ學術研究ヲ目的トスルモノニシテ大正十五年度ヨリ施業案ニ基キ合理的森林經營ヲ開始セリ

宮崎演習林 宮崎縣西彼杵郡椎葉村大字大河内ニ在リ面積二千九百四十三町七反三畝十六步、昭和十四年三月民有地ヲ買收セリ本演習林ハ九州固有ノ森林經營竝ニ學術研究ヲ目的トスルモノニシテ設立日尙淺ク未ダ何等ノ施設ナキモ速カニ施業方針ヲ確立シ合理的經營ニ着手スルノ計畫中ナリ大河内ニ於テ苗圃用地千七百八十六坪ヲ購入シ昭和十七年度ニ於テ同敷地内ニ建設作業所其他新營工事ニ着手セリ

○温泉治療學研究所

温泉治療學研究所ハ大分縣別府市ニ在リテ敷地二萬坪ハ元速見郡朝日村及石垣村ノ寄附ニ係ルモノナリ
建物ハ本館、治療室、浴室、機關室、調理室、洗濯室、消毒室、物置、動物舍、門衛、研究室、氣象觀測舍、外科手術室、レントゲン室、倉庫、汚物焼却所、治療室患者受付所、自動車庫、屍體室ノ木造建坪九百七十三坪餘延坪一千三百二十九坪餘及藥品庫、昇降機塔ノ鐵筋コンクリート建各一棟、看護婦寄宿舍木造二階建二棟建坪七十六坪餘延坪百十七坪餘、貯水池、石炭置場各一ヶ所、外ニ九州電氣軌道株式會社寄附(昭和九年十月三十一日)ニ係ル木造二階建建坪百九坪餘延坪二百三十坪餘ノ病棟一棟及財團法人和田薰幸會寄附(昭和十一年八月十二日)ニ係ル木造平家建三十坪餘ノ學生研究室一棟及林健外二名寄附(昭和十三年四月二十七日)ニ係ル木造二階建建坪五十坪延坪九十坪餘ノ研究室一棟ヲ有ス

本所ノ事業ハ温泉治療學ノ學理及應用ニ關スル全般的ノ研究ヲ爲スモノニシテ即チ

一、温泉ノ本質ト其ノ作用ヲ明ニシ

○温泉治療學研究所

二、生物學的作用特ニ人體ニ及ホス作用ヲ檢シ

三、治療的要素ヲ明ニシ、

四、各種溫泉ノ適應症ヲ決定シテ患者ヲ治療シ併セテ健康ノ増進ニ應用ス

尙附帶事業トシテ溫泉療養ニ關スル指導ヲナス

之等ノ目的ヲ達成センカ爲各種精密ナル科學的研究ヲ行フヘキ研究室ノ外最新ノ各種診療設備並ニ溫泉利用ニ關スル特種裝置ヲ有ス

茲ニ昭和十六年六月一日ヨリ昭和十七年五月三十一日ニ至ル一ケ年間ノ入院及外來者ノ延人員ヲ擧ク
レハ左ノ如シ

入院者外來者延人員表

月 別	入院者 延人員			外來者 延人員		
	私費	官費	計	私費	官費	計
昭和十六年 六月	一、八二六	七〇	一、八九六	四、一〇八	〇	四、一〇八
七月	一、八一二	七八	一、八九〇	四、二〇四	〇	四、二〇四
八月	一、七五四	一〇五	一、八五九	三、九八五	〇	三、九八五

○ 經 費

月 別	私費	官費	計	私費	官費	計
九 月	一、五二九	六〇	一、五八九	三、〇七二	〇	三、〇七二
十 月	一、六一二	八五	一、六九七	二、八七二	〇	二、八七二
十 一 月	一、四八〇	四二	一、五二二	二、三七一	〇	二、三七一
十 二 月	一、六一三	四三	一、六五六	二、二五三	〇	二、二五三
昭和十七年 一 月	一、五七二	三一	一、六〇四	二、一三四	〇	二、一三四
二 月	一、三九九	三七	一、四三六	二、〇七四	〇	二、〇七四
三 月	一、七一二	二一	一、七三三	二、五六〇	〇	二、五六〇
四 月	一、七〇八	九	一、七一七	二、六一九	〇	二、六一九
五 月	一、七四五	五	一、七五〇	三、二〇二	〇	三、二〇二
計	一九、七六三	五八六	二〇、三四九	三五、四五四	〇	三五、四五四

昭和十七年度本學ノ經費豫算ハ經常費六百拾參萬九千四拾八圓、臨時費八拾參萬九千貳百拾參圓ニシテ内四百九萬百貳拾參圓ハ政府支出金ニ屬シ參萬圓ハ維持資金ヨリ繰入レ拾貳萬五千圓ハ寄附金貳百七拾參萬參千百參拾八圓ハ授業料其他ノ收入ニ屬セリ今茲ニ本學創立以來累年經費決算額ヲ掲ケテ共

ノ大要ヲ示ス但シ昭和十七年度ハ豫算額ニ依ル

経費額表

年 度	経 常 費	臨 時 費	合 計	前年度ニ比シ増減
明治四十四年度	四八二、八二六 ^四	一一七、四七二 ^四	六〇〇、二九八 ^四	
明治四十五年度	五五八、四三三	二五一、九九一	八一〇、四二四	二一〇、一二六
大正二年度	五八〇、一三〇	一六九、五四八	七四九、六七八	△ 六〇、七四六
大正三年度	六〇二、五五五	一二九、七二三	七三二、二七八	△ 一七、四〇〇
大正四年度	六二一、六七六	一四一、七一	七六三、三八七	三一、一〇九
大正五年度	六五六、一〇五	一三一、七七六	七八七、八八一	二四、四九四
大正六年度	六八二、二〇七	二六八、五九四	九五〇、八〇一	一六二、九二〇
大正七年度	七三九、三六六	七二五、二一五	一、四六四、五八一	五一三、七八〇
大正八年度	八二六、〇一九	九二七、七〇九	一、七五三、七二八	二八九、一四七
大正九年度	一、三〇〇、一〇〇	九八八、七九九	二、二八八、八九九	五二五、一七一
大正十年度	一、七二七、〇五八	八八一、八〇七	二、六〇八、八六五	三一九、九六六

(表中△印ハ減額)

大正十一年度	二、〇九〇、五四五	一、三〇〇、二六二	三、三九〇、八〇七	七八一、九四二
大正十二年度	二、二七七、九四七	九二三、六四八	三、二〇一、五九五	△ 一八九、二一二
大正十三年度	二、四五三、二三五	一、一六〇、二二七	三、六一三、四六二	四一一、八六七
大正十四年度	二、七五七、一三〇	一、七四一、四三九	四、四九八、五六九	八八五、一〇七
大正十五年度	二、九七四、五五八	一、二六五、一九一	四、二三九、七四九	△ 二五八、八二〇
昭和二年度	三、一七八、〇五四	一、四二六、〇九七	四、六〇四、一五一	三六四、四〇二
昭和三年度	三、二三八、九〇六	一、〇六八、三一三	四、三〇七、二一九	△ 二九六、九三二
昭和四年度	三、三一九、九二八	一、二六〇、三七八	四、五八〇、三〇六	二七三、〇八七
昭和五年度	三、一九二、九一五	一、四八七、三一〇	四、六八〇、二二五	九九、九一九
昭和六年度	三、一〇七、四七六	九七五、五七八	四、〇八三、〇五四	△ 五九七、一七一
昭和七年度	三、〇四四、五二九	三六八、三二九	三、四一二、八五八	△ 六七〇、一九六
昭和八年度	三、一八六、二五五	八三七、七二八	四、〇二三、九八三	六一一、一二五
昭和九年度	三、二七一、二〇一	一、〇八一、一六五	四、三五二、三六六	三二八、三八三
昭和十年度	三、三四〇、四〇九	九〇七、九五五	四、二四八、三六四	△ 一〇四、〇〇二
昭和十一年度	三、三五八、八五六	一、〇五三、九四四	四、四一二、八〇〇	一六四、四三六

昭和十二年 度	三、四九六、九九九	四〇一、六〇五	三、八九八、六〇四	△ 五一四、一九六
昭和十三年 度	三、五九五、〇五八	八七二、六五四	四、四六七、七一二	五六九、一〇八
昭和十四年 度	三、九三六、七三三	七二一、二二一	四、六五七、九五四	一九〇、二四二
昭和十五年 度	四、三二五、五三六	六三五、七九一	四、九六一、三二七	三〇三、三七三
昭和十六年 度	五、一〇一、一九五	七九八、三八二	五、八九九、五七七	九三八、二五〇
昭和十七年 度	六、一三九、〇四八	八三九、二一三	六、九七八、二六一	一、〇七八、六八四

○獎學資金

一熊谷獎學資金

右ハ醫學博士熊谷玄且ヨリ明治四十二年十月二十日金壹千圓ヲ寄附セシモノニシテ其ノ利子ヲ以テ醫學部ニ於ケル醫學獎勵ノ費途ニ充ツヘキモノトス

昭和二年六月十四日福岡縣醫師會々長醫學博士溝口喜六ヨリ右資金へ金五百圓追加寄附セラレ

一工科大学採鑛冶金學科獎學資金

右ハ故工學博士松田武一郎相續人松田昌平ヨリ亡父ノ遺志ニヨリ明治四十四年十月二十二日金五百圓ヲ寄附セシモノニシテ其ノ利子ヲ以テ採鑛冶金學科學生ノ費途ニ充ツヘキモノトス

一故武谷元立記念獎學資金

右ハ武谷水城ヨリ亡祖父元立贈位記念トシテ明治四十五年五月二十日第三十五回勸業債券額面金五百圓ヲ寄附セシモノニシテ寄附當月ヨリ滿五十箇年据置キ爾後其ノ利子ヲ以テ醫學獎勵ノ費途ニ充ツヘキモノトス

一大森獎學資金

右ハ故九州帝國大學名譽教授醫學博士大森治豐相續人大森丙ヨリ大正元年八月二十七日金五百圓ヲ寄附セシモノニシテ(當時ノ本學通則第七十一條ニ依リ)本學ニ於テ適宜ノ費途ニ充ツヘキモノトス

一中博士記念獎學資金

右ハ元九州帝國大學醫科大學教授醫學博士中金一退職記念トシテ九州帝國大學醫科大學教授醫學博士旭憲吉外二名ノ總代ヨリ大正二年六月十八日金貳千六百五拾八圓六拾參錢ヲ寄附セシモノニシテ其ノ利子ヲ以テ醫學部ニ於ケル學業獎勵費ニ充ツヘキモノトス

一大森文子獎學資金

右ハ大森丙ヨリ亡母文子ノ遺志ニ依リ大正二年十二月四日金貳百六拾圓、大正七年三月二十二日金四百六拾五圓參拾九錢ヲ寄附セシモノニシテ醫學部學生ノ貸費ニ充ツヘキモノトス

一故工學博士伊東榮三郎記念獎學資金

右ハ故九州帝國大學工科大学教授工學博士伊東榮三郎記念ノ爲有志者ニ於テ醱集シ大正三年三月七日第四十八回勸業債券額面金五百八拾圓ヲ寄附セシモノニシテ其ノ利子ヲ以テ工學部應用化學科ノ學術獎勵費ニ充ツ

○獎學資金

ヘキモノトス

一故貝島慶子獎學費

右ハ貝島太助ヨリ大正四年二月二十七日亡妻慶子ノ遺志ニ依リ五分利公債證書額面金貳萬四千圓ヲ寄附セシモノニシテ適當ノ時期ニ於テ之ヲ賣却シ其ノ代金及利子ヲ以テ醫學部用ラヂユーム竝ニ之カ使用ニ要スル器具機械ノ購入費及購入ニ關スル諸費ニ充ツヘキモノトス

一故久保常保記念獎學資金

右ハ醫學博士久保猪之吉ヨリ亡父常保ノ記念トシテ大正四年十一月四日金壹百圓ヲ寄附セシモノニシテ其ノ利子ヲ以テ學生閱覽用圖書購入ノ費途ニ充ツヘキモノトス

一男爵住友吉左衛門獎學資金

右ハ大正五年六月二十日男爵住友吉左衛門ヨリ大正五年以降年々金五百圓以內ヲ寄附スルモノニシテ工學部學生及工學上ノ研究ヲ爲ス大學院學生ノ貸費ニ充ツヘキモノトス

一故貝島太助記念獎學資金

右ハ貝島榮一ヨリ大正五年十二月十五日亡祖父太助ノ遺志ニ依リ金壹萬圓ヲ寄附セシモノニシテ其ノ利子及元金ヲ以テ醫學部第二内科ノ研究又ハ設備ニ要スル費途ニ充ツヘキモノトス

一稻田獎學資金

右ハ醫學博士稻田龍吉ヨリ大正七年九月二十七日金貳千五百圓ヲ寄附セシモノニシテ其ノ利子ヲ以テ醫學部

附屬醫院内科教室ニ於ケル研究費又ハ圖書購入費ニ充ツヘキモノトス

一故筑紫利三郎獎學資金

右ハ筑紫權四郎ヨリ大正八年六月六日亡筑紫利三郎ノ遺志ニ依リ金參百圓ヲ寄附セシモノニシテ其ノ利子ヲ以テ工學部電氣工學科學生獎勵ノ費途ニ充ツヘキモノトス

一故原田吉三郎記念獎學資金

右ハ大正十一年二月一日原田重三郎ヨリ亡吉三郎ノ遺志ニ基キ金壹千圓ヲ寄附シタルモノニシテ其ノ利子ヲ以テ工學部應用化學科ノ研究獎勵ノ費途ニ充ツヘキモノトス

一吉田一毅記念獎學資金

右ハ吉田顯三ヨリ大正十一年五月五日亡一毅ノ記念トシテ五分利公債證書額面金貳萬圓ヲ寄附セシモノニシテ之ヨリ生スル利子ヲ以テ毎年一回醫學部ニ於ケル學術優等者ニ賞與シ又ハ特殊ノ研究獎勵金トシテ之ヲ授與スルノ費途ニ充ツヘキモノトス

一故大迫武吉記念獎學資金

右ハ大正十二年一月十八日大迫キタノヨリ亡武吉ノ遺志ニ基キ金壹萬圓ヲ寄附セシモノニシテ之ヨリ生スル利子ヲ以テ醫學部第一外科教室ニ於ケル研究又ハ設備ニ要スル費途ニ充ツヘキモノトス

一故市川鑛一記念獎學資金

右ハ市川鶴松ヨリ大正十二年二月二十三日故工學士市川鑛一ノ記念トシテ金壹百圓ヲ寄附セシモノニシテ寄

○獎學資金

附當月ヨリ滿十五ヶ年据置キ爾後其ノ利子ヲ以テ工學部探鏡學科ノ學術獎勵ノ費途ニ充ツヘキモノトス

一安川峰子記念獎學資金

右ハ安川清三郎ヨリ大正十三年二月二十七日亡母安川峰子記念ノ爲金壹萬壹千貳百拾圓ヲ寄附セシモノニシテ之ヨリ生スル利子ヲ以テ醫學部第二内科教室ニ於ケル研究及治療用機械購入費又ハ設備其他ニ要スル費途ニ充當スルモノトス

一故武谷祐之記念獎學資金

右ハ醫學博士武谷廣ヨリ大正十三年五月二十三日亡祖父祐之贈位記念ノ爲金五百圓ヲ寄附セシモノニシテ元利合計金五千圓ニ達スル迄利殖シ其ノ翌年ヨリ年々生スル利子ヲ以テ醫學部ニ於ケル醫學獎勵ノ費途ニ充當スルモノトス

一男爵古河虎之助獎學資金

右ハ大正十三年十月三十日男爵古河虎之助ヨリ金六千參百拾五圓ヲ寄附シタルモノニシテ本學工學部學術研究用器具機械及標本類ノ購入費ニ充ツルモノトス

一故工學博士渡邊芳太郎記念獎學資金

右ハ大正十四年七月二十日故工學博士渡邊芳太郎追憶ノタメ有志者ヨリ贈出ニ係ル有價證券額面五千貳百拾圓ヲ寄附セシモノニシテ右證券ヨリ生スル利子ノ四分ノ一ハ該資金ニ編入シ四分ノ三ヲ以テ本學工學部探鏡及冶金學科ニ於ケル研究ノ費途ニ充ツヘキモノトス

一工學部應用化學科復舊獎學資金

右ハ大正十五年二月十日工學部應用化學科復舊ノ爲卒業者及緣故者ヨリ贈出ニ係ル金貳千五百參拾圓拾壹錢ヲ寄附セシモノニシテ右資金ヨリ生スル利子ヲ以テ工學部應用化學科教室ノ費途ニ充ツヘキモノトス

一「福岡醫科大學雜誌」記念獎學資金

右ハ大正十五年三月三日福岡醫科大學雜誌事業紀念ノ爲有志者ヨリ贈出ニ係ル金壹萬圓ヲ總代久保猪之吉ヨリ寄附シタルモノニシテ本金額ヨリ生スル利子ヲ以テ醫學部ヨリ發表スル邦語論文ノ獎勵並ニ印刷ノ費途ニ充ツヘキモノトス

一安田獎學資金

右ハ大正十五年八月二十八日安田帆之助ヨリ五分利國庫債券額面金壹萬圓ヲ寄附セルモノニシテ該債券ヨリ生スル利子ヲ以テ醫學部ニ於ケル研究又ハ獎學ノ費途ニ充當スルモノトス

一宮入獎學資金

右ハ昭和二年一月八日醫學博士宮入慶之助ヨリ金參千五百圓ヲ（昭和五年二月三日醫學博士横川定ヨリ金五拾圓ヲ追加寄附）寄附セルモノニシテ該金額ヨリ生スル年々ノ利子ヲ以テ衛生學特ニ寄生蟲學ニ關スル論文ノ賞與ニ充當スルモノトス

一故多田美一記念獎學資金

右ハ昭和二年三月十六日故多田美一記念ノ爲有志者ヨリ贈出ニ係ル金五百圓六拾八錢ヲ寄附セルモノニシテ

○獎學資金

該金額及之ヨリ生スル利子ヲ以テ工學部應用化學科教室ニ於ケル圖書購入費ニ充ツルモノトス

一住田獎學資金

右ハ昭和三年十一月二十三日醫學博士住田正雄ヨリ金壹千圓ヲ寄附セシモノニシテ該金額ヨリ生スル利子ヲ以テ醫學部ニ於ケル醫學獎勵ノ費途ニ充ツヘキモノトス

一故工學博士宇佐美桂一郎記念獎學資金

右ハ昭和四年二月九日故工學博士宇佐美桂一郎記念ノ爲有志相諮リ釀出ニ係ル四分利公債證書額面金壹千七百圓ヲ寄附セシモノニシテ本有價證券ヨリ生スル利子ヲ以テ應用化學教室ノ學術研究ニ關スル費途ニ充ツヘキモノトス

一井戸獎學資金

右ハ昭和四年六月二十八日故醫學博士井戸泰妻井戸雪子ヨリ金參千五百圓ヲ寄附セルモノニシテ該金額ヨリ生スル年々ノ利子ヲ以テ醫學部内科圖書室備付圖書購入費ニ充當スルモノトス

一ロツク教授記念獎學資金

右ハ昭和四年十二月二十四日亞米利加合衆國マサチューセツツ、インスチテニト、オブ、テクノロジー教授チャールズ、イー、ロツクヨリ金貳百圓ヲ寄附セルモノニシテ元利合計金五千圓ニ達スル迄利殖シ其ノ翌年ヨリ生スル年々ノ利子ヲ以テ工學部探鏡學科及冶金學科學生ノ給費若ハ貸費ニ充當スルモノトス

一伊東祐彦獎學資金

右ハ昭和五年二月三日醫學博士伊東祐彦ヨリ金貳千圓ヲ寄附セルモノニシテ該金額ヨリ生スル年々ノ利子ヲ以テ醫學部小兒科學教室ニ於ケル研究者ノ實驗費ヲ補助スルモノトス

昭和十一年十一月十四日亡父ノ遺志ニ依リ嗣子伊東祐信ヨリ右資金中ニ金參千圓追加寄附セラル

一後藤元之助獎學資金

右ハ昭和五年四月三十日醫學博士後藤元之助ヨリ金貳千五百圓ヲ寄附セルモノニシテ該金額ヨリ生スル年々ノ利子ヲ以テ醫學部醫化學教室ニ於ケル研究者ノ實驗費ヲ補助スルモノトス

一高獎學資金

右ハ昭和五年七月十七日工學博士高壯吉ヨリ五分利公債證書額面金貳千圓ヲ寄附セルモノニシテ該公債ヨリ生スル利子ヲ以テ工學部探鏡學科及冶金學科ノ學術獎勵ノ費途ニ充當スルモノトス

一弘瀬淑記念獎學資金

右ハ昭和五年十二月十五日弘瀬彦猪ヨリ故廣瀬淑記念トシテ金七百圓ヲ寄附セルモノニシテ該金額ヲ以テ醫學部小兒科教室研究費ニ充テ特ニ急激中毒症狀ノ病理ニ關スル研究費ヲ補助スルモノトス

一故淺羽隆太郎記念獎學資金

右ハ昭和六年十二月十五日故淺羽隆太郎記念ノ爲有志者相諮リ釀出ニ係ル金參百五十圓ヲ寄附セルモノニシテ該金額及之ヨリ生スル利子ヲ以テ工學部造船學教室ニ於ケル光彈性學研究竝ニ設備ノ費用ニ充當スルモノトス

○獎學資金

一 工學部電氣工學科獎學資金

右ハ昭和七年四月二十日工學博士降矢芳郎ヨリ第二回四分利公債證書額面金貳千圓ヲ寄附セルモノニシテ該公債ヨリ生スル利子ヲ以テ毎年電氣工學科卒業生中學業操行優秀ナル者若干名ヲ選定シ學風向上獎勵ノ一端トシテ授與スヘキ賞品購入ノ費途ニ充ツルモノトス

一 故入澤京太郎獎學資金

右ハ昭和八年二月四日入澤健一郎ヨリ亡父京太郎記念ノ爲金百圓ヲ寄附セルモノニシテ該金額ハ醫學部內科學第一講座教室ニ於ケル黃疸出血性スピロヘータ病ノ研究獎勵ノ費途ニ充當スルモノトス

一 工學博士西川帛吉記念獎學資金

右ハ昭和八年七月十八日工學博士西川帛吉還曆記念事業總代寺野寛ニヨリ有價證券額面金參千五百圓ヲ寄附セルモノニシテ該證券ヨリ生スル利子ヲ以テ工學部應用化學教室ノ學術研究ノ費途ニ充當スルモノトス

一 藤田正二記念獎學資金

右ハ昭和八年十月三日藤田正二ヨリ金參千圓ヲ寄附セルモノニシテ該金額ハ醫學部精神科教室ニ於テ同教室主任教授ノ腦病理學研究ノ費途ニ充當スルモノトス

一 小泉家記念獎學資金

右ハ昭和九年十月十日森ケイ同六郎ヨリ金參千圓ヲ昭和九年以降三ヶ年ニ毎年金壹千圓ヲ寄附スルモノニシテ該金額ハ醫學部精神科教室ニ於テ學術的研究ノ費途ニ充當スルモノトス

一 大西克知獎學資金

右ハ昭和九年十月十八日大西克治ヨリ亡父ノ遺志ニ依リ金壹萬圓ヲ寄附セルモノニシテ該金額ヨリ生スル利子ヲ以テ失明者ニシテ醫學部ニ於テ教育ヲ受ケントスル者又ハ研究ヲ爲ス者及盲人ニ關スル研究ニ從事スル者ノ教育又ハ研究ノ補助ニ充當スルモノトス

一 法文學部獎學會獎學資金

右ハ九州帝國大學法文學部獎學會長ヨリ昭和十年四月二十六日以降金五千九百八拾圓ヲ寄附セルモノニシテ本金額及之ヨリ生スル利子ヲ以テ法文學部學生中學術優秀志操健實ニシテ學資ニ乏シキ者ニ對シ學資ノ補給ヲ爲スモノトス

一 工學博士野中季雄還曆記念獎學資金

右ハ昭和十年五月四日工學博士野中季雄還曆記念事業總代橋本賢輔ヨリ有價證券額面金壹千貳百圓ヲ寄附セルモノニシテ該證券ヨリ生スル利子ヲ以テ工學部造船學科學士試驗合格者中學業操行優秀ノ者ニ授與スヘキ賞品購入ノ費途ニ充ツルモノトス

一 故醫學博士澄川德獎學資金

右ハ昭和十年七月五日故澄川德養子日出男ヨリ金貳千圓ヲ寄附セルモノニシテ該金額ヨリ生スル年々ノ利子ヲ九州帝國大學醫學部內科圖書室備付圖書購入ノ費途ニ充ツルモノトス

一 株式會社渡邊鐵工所獎學資金

○ 獎學資金

右ハ昭和十年八月八日取締役社長渡邊福雄ヨリ金四千拾五圓ヲ寄附セルモノニシテ本金額及之ヨリ生スル利子ヲ以テ工學部造船學實驗室風洞實驗設備ノ費途ニ充當スルモノトス

一故工學士日下部健爾記念獎學資金

右ハ昭和十一年十二月二十四日亡工學士日下部建爾父日下部進ヨリ金百圓ヲ寄附セルモノニシテ該金額及之ヨリ生スル利子ヲ以テ工學部應用化學教室ニ於ケル圖書購入ノ費途ニ充當スルモノトス

一武谷廣獎學資金

右ハ昭和十二年四月二十二日醫學博士武谷廣ヨリ金參千五百圓ヲ寄附セルモノニシテ該金額ヨリ生スル利子ヲ以テ醫學部內科教室ニ於ケル研究又ハ圖書購入ノ費途ニ充當スルモノトス

一眞鍋獎學資金

右ハ昭和十二年五月二十五日及同年十一月二十四日ノ二回ニ亙リ各金千圓宛計金貳千圓ヲ日本建機株式會社專務取締役眞鍋武雄ヨリ寄附セルモノニシテ該金額及之ヨリ生スル利子ヲ以テ工學部土木工學教室ニ於ケル「コンクリート」ニ關スル研究ノ費途ニ充當スルモノトス

一吉町太郎一博士記念獎學資金

右ハ昭和十二年十月六日吉町博士退職記念會實行委員代表者鷹部屋福平ヨリ金五百圓ヲ寄附セルモノニシテ該金額及之ヨリ生スル利子ヲ以テ工學部土木工學教室ノ圖書費ニ充當スルモノトス

一臺灣製糖株式會社獎學資金

右ハ臺灣製糖株式會社取締役社長武智直道、同益田太郎兩名ヨリ製糖並ニ之ニ關スル諸項ノ研究費トシテ昭和十二年十一月十日以降金八千圓ヲ寄附セルモノニシテ內金貳千圓ヲ農學部農藝化學科農產製造學教室ニ於ケル研究費ニ、金四千圓ヲ農學部林學第五講座教室ニ於ケル研究費ニ、金貳千圓ヲ工學部應用化學科第二講座教室ニ於ケル研究費ニ夫々充當スルモノトス

一元造船學科學生久芳祥一獎學資金

右ハ昭和十二年十一月二十六日故久芳祥一母久芳スエヨリ金五百圓ヲ寄附セルモノニシテ該金額及之ヨリ生スル利子ヲ以テ工學部造船學教室ノ設備費ニ充當スルモノトス

一岩瀬德三郎獎學資金

右ハ昭和十三年三月二十九日以降六箇年間ニ亙リ岩瀬德三郎ヨリ總額金參萬五千圓ヲ寄附セルモノニシテ該金額及之ヨリ生スル利子ヲ以テ工學部應用化學教室ニ於ケル研究並ニ授業等ニ關シ必要ナル費途ニ充當スルモノトス

一王子製紙株式會社獎學資金

右ハ昭和十三年四月二十日王子製紙株式會社取締役社長藤原銀次郎ヨリ金參拾萬圓ヲ寄附セルモノニシテ內金拾萬圓ヲ工學部機械工學科ニ於ケル研究資金ニ、金拾萬圓ヲ工學部應用化學科ニ於ケル研究資金ニ、金拾萬圓ヲ農學部林學科ニ於ケル研究資金ニ夫々充當スルモノトス

一腦神經研究獎學資金

○獎學資金

右ハ昭和十三年六月二十四日平光吾一ヨリ金五百圓ヲ寄附セルモノニシテ十ヶ年間据置キ利殖シ元金及其ノ利子ヲ以テ醫學部腦神經研究室ニ於ケル研究費又ハ圖書標本等ノ購入ノ費途ニ充當スルモノトス

一旭憲吉博士獎學資金

右ハ昭和十四年七月十七日九州帝國大學醫學部皮膚科泌尿器科教室自遠會代表高木繁、皆見省吾兩名ヨリ金參千圓ヲ寄附セルモノニシテ該金額ヨリ生スル利子ヲ以テ醫學部皮膚科泌尿器科教室ニ於ケル研究又ハ皮膚科學並ニ泌尿器科學講座擔任兩教授ノ申請ニ依リ適當ノ費途ニ充當スルモノトス

一金子恭輔獎學資金

右ハ昭和十四年十二月二十一日金子博士記念事業實行委員總代谷村熈ヨリ有價證券額面貳千圓ヲ寄附セルモノニシテ該證券ヨリ生スル利子ヲ以テ工學部探礦學科及冶金學科ノ學生ノ爲學術獎勵ノ費途ニ充當スルモノトス

一故上野盛道記念獎學資金

右ハ昭和十五年一月九日故上野盛道妻光ヨリ金百五拾圓ヲ寄附セルモノニシテ該金額及之ヨリ生スル利子ヲ以テ農學部農學教室ニ於ケル作物學ニ關スル研究ノ費途ニ充當スルモノトス

一精神科學獎學資金

右ハ昭和十五年二月二十二日牛尾量一ヨリ金千圓ヲ寄附セルモノニシテ該金額及之ヨリ生スル利子ヲ以テ醫學部精神科教室ニ於ケル精神病ノ治療研究ノ費途ニ充當スルモノトス

一第一內科獎學資金

右ハ昭和十五年三月二十八日九州帝國大學醫學部第一內科同窓會代表金子廉次郎ヨリ有價證券額面壹萬圓ヲ寄附セルモノニシテ該證券ヨリ生スル利子ヲ以テ醫學部第一內科教室ニ於ケル研究並ニ其他ノ費途ニ充當スルモノトス

一山崎何惠獎學資金

右ハ昭和十五年四月三十日山崎何惠ヨリ福日文化賞受賞記念ノ爲金五百圓ヲ寄附セルモノニシテ該金額及之ヨリ生スル利子ヲ以テ農學部農藝化學科學學生ノ貸費ニ充ツルモノトス

一郡是製絲獎學資金

右ハ昭和十五年六月十四日郡是製絲株式會社取締役社長波多野林一ヨリ金五拾萬圓ヲ寄附セルモノニシテ該金額及之ヨリ生スル利子ヲ以テ蠶絲化學研究ノ費途ニ充當スルモノトス

一永積獎學資金

右ハ昭和十五年六月十五日日本學名譽教授永積純次郎ヨリ金壹萬圓ヲ寄附セルモノニシテ該金額及之ヨリ生スル利子ヲ以テ工學部ニ於ケル學術獎勵ノ費途ニ充當スルモノトス

一梅思平獎學資金

右ハ昭和十五年十二月二十七日中華民國國民政府工商部長梅思平ヨリ金千五百圓ヲ寄附セルモノニシテ該金額及之ヨリ生スル利子ヲ以テ法文學部ニ於ケル中日文化交流並ニ中華民國留學生ノ獎學ノ費途ニ充當スルモノトス

○獎學資金

ノトス

一 外科學獎學資金

右ハ昭和十六年五月八日平井清ヨリ金參千圓ヲ寄附セルモノニシテ該金額及之ヨリ生スル利子ヲ以テ醫學部
第二外科學教室ニ於ケル外科的治療ノ研究費ニ充當スルモノトス

一 田中義磨獎學資金

右ハ昭和十六年五月十五日田中義磨ヨリ福日文化賞受賞記念ノ爲有價證券額面五百圓ヲ寄附セルモノニシテ
該寄附金及之ヨリ生スル利子ヲ以テ農學部ニ於ケル蠶ノ遺傳ニ關スル研究費又ハ圖書購入ノ費途ニ充當スル
モノトス

一 田邊獎學資金

右ハ昭和十六年六月三日以降二箇年間ニ亙リ株式會社田邊五兵衛商店取締役社長田邊五兵衛ヨリ總額金五千
圓ヲ寄附スルモノニシテ該金額及之ヨリ生スル利子ヲ以テ醫學部藥理學教室ニ於ケル學術研究ノ費途ニ充當
スルモノトス

一 滿洲柞蠶株式會社獎學資金

右ハ昭和十六年七月二十五日滿洲柞蠶株式會社取締役社長長木村春雄ヨリ金千圓ヲ寄附セルモノニシテ該金額
及之ヨリ生スル利子ヲ以テ農學部農藝化學科農產製造學教室ニ於テ柞蠶細苗並ニ之ニ關係スル事項ノ研究費
途ニ充當スルモノトス

一 農學部水產學獎學資金

右ハ昭和十七年一月十三日旭ベンベルグ絹絲株式會社取締役社長長野口遼ヨリ金千圓ヲ寄附セルモノニシテ該
金額及之ヨリ生スル利子ヲ以テ農學部ニ於ケル水產學研究ノ費途ニ充當スルモノトス

一 野村合名會社獎學資金

右ハ昭和十七年三月十四日野村合名會社常務理事細田秀造ヨリ金參千圓ヲ寄附セルモノニシテ該金額及之ヨ
リ生スル利子ヲ以テ工學部應用化學教室ニ於ケル「生ゴムノ熱分解ニヨル液體生成物」ニ關スル研究ノ費途
ニ充當スルモノトス

一 中村豐三郎獎學資金

右ハ昭和十七年三月二十六日前山管子ヨリ金百圓ヲ寄附セルモノニシテ該金額ヲ以テ醫學部ニ於ケル結核研
究ノ費途ニ充當スルモノトス

○ 集 會 所

集會所ハ三ヶ所ニ在リ

第一集會所 醫學部敷地ニ隣接シ面積四百七十坪餘官有地ノ組替ニシテ之カ價格金二萬五千八百六十

四圓餘ナリ建物ハ木造三十七坪餘

○ 集會所

第二集會所 法文學部敷地内ニ在リ建物ハ木造二階建延坪二百七十二坪餘
 第三集會所 箱崎松濱町ニ在リ敷地面積七百五十六坪餘之カ價格金一萬八千九百一十一圓餘ニシテ建物
 ハ木造二階建延坪百三十七坪餘ナリ
 孰レモ本學學生ノ集會用ニ供ス

○學生生徒ノ異動

昭和十六年六月ヨリ昭和十七年五月迄ノ本學學生生徒ノ異動左ノ如シ

區分	入學生	卒(修)業生	退學者	死亡者	除籍者
大學院	二四	二七	一〇	一	一
醫學部	一一〇	一一一 <small>(内一三陸軍委託學生)</small>	一	一	一
工學部	一一一 <small>(内二陸軍委託學生)</small>	一三九	三	三	一
農學部	六一	六三	二 <small>(内一海軍委託學生)</small>	一	一
法文學部	三〇〇 <small>(内一再入學者)</small>	一六八 <small>(内一再入學在學繼續者)</small>	一一	四	一

理學部	專攻生	選科生	計
三三	四五	一	八〇四
二三	一	一	五四一
四	三〇	一	六一
一	一	一	九
一	一	一	一

○學生及生徒姓名

(昭和十七年五月末日調)

第一 大學院學生

醫學ニ屬スル學科ヲ修ムル者

內科學方面ニ於ケル細菌學的研究
 內科學一般
 外科領域ニ於ケル病理學
 傳染性皮膚泌尿器疾患ニ關スル研究
 內科學一般
 內科學一般
 接種マラリヤニ關スル研究
 外科學領域ニ於ケル生化學的研究

醫學士 杉山二郎 福岡
 醫學士 樋口正人 福岡
 醫學士 伊藤晃 廣島
 醫學博士醫學士 津留壽 福岡
 醫學士 向田哲夫 鹿兒島
 醫學士 三根豐樹 佐賀
 醫學士 野田壽一郎 福岡
 醫學士 庄野圭二郎 德島

○學生生徒ノ異動 ○學生及生徒姓名(大學院)

林業經營特ニ法律的研究
畜産學特ニ其原論的研究

法學、經濟學ニ屬スル學科ヲ修ムル者

地方行政、特ニ日本農村地方自治組織及其運用ノ實際
國際金融
萬國音標文字及英語ニ據ル日本語教授法
會計學

農學士 竹下吉仁 福岡
農學士 西山久吉 福岡

法學士 張兆豐 中華民國
經濟學士 于瑞熹 中華民國
文學士 山本正巳 東京
經濟學士 增田孝福 福岡

第二 醫學部學生

醫學科

昭和七年入學

藥師寺直美 愛媛

昭和十年入學

金志莊 中華民國

昭和十一年入學

蘆野二郎 兵庫

吉田二三雄 福岡 李有浩 朝鮮

昭和十二年入學

犬丸建造 福岡
藤田正紀 大分

藺守嘉夫 石川 片瀬武 熊本 外山貞一 熊本 林幸男 山口

昭和十三年入學

△內蘭洋三 鹿兒島
多田重治 福岡

加茂重俊 佐賀 厨良教 福岡 近藤德雄 福岡 志村孝甫 神奈川
竹村宗良 高知 松井太一 愛知 松本欣治 福岡 村田彰 山口

昭和十四年入學

(天津) 信之 島根
(元藤澤) 和夫 福岡
麻生良介 島根
石原良介 島根
梅崎司 佐賀
小田原榮 鹿兒島
△上村行照 鹿兒島
(元安部) 一孝 高知
黑川登 廣島
小島弘 東京
財滿潔 山口
△笹野勝人 福岡

朝隈潤二 鹿兒島 甘精榮四郎 神奈川
井上五郎 滋賀 井下司郎 香川
今村健二郎 鹿兒島 池田惠一 愛媛
江口正幹 熊本 岡野圭祐 山口
奥田稔郎 長崎 川村邦男 山形
神谷勝之 愛媛 勝田謙治 鹿兒島
木下治 長野 北山重富 和歌山
桑野敬三 福岡 厨靖之 福岡
小松美鶴 熊本 後藤芳美 大分
櫻田昇 東京
渥美太郎 宮城
井土忠士 福岡 伊藤憲一 福岡
稻村和一 廣島 內田陽一 佐賀
大堂文雄 熊本 大村純夫 福岡
賀川正陸 廣島 龜田五郎 山口
河崎可成 山口 (元相良) 鴨井安宅 福岡
國行康郎 山口 限本外二 福岡
楠田親平 福岡 小牧昌作 鹿兒島
合屋守 福岡 古賀正道 福岡
三宮勳 大分 鹽福岩 鹿兒島

○學生及生徒姓名(醫學部)

柴田 義衛 埼玉	椎葉 千里 宮崎	(元佐藤) 文男 山口	(元德山) 昌隆 長崎	砂堀 隆明 廣島
膳所 美光 大分	副島 泰然 長崎	祖谷 敏隆 徳島	高木 俊一郎 熊本	高尾 健嗣 佐賀
立花 武比古 福岡	知識 修二 鹿兒島	陣内 高志 佐賀	土屋 果 大分	築山 功 長崎
德富 良二 佐賀	○時政 希典 福岡	中本 富士郎 廣島	(元村上) 保雄 山口	中村 德平 栃木
中山 富之 佐賀	中島 輝之 熊本	永田 秀稻 長崎	永松 龍夫 福岡	鍋倉 正利 鹿兒島
根木 明人 山口	野瀬 友保 徳島	野田 早苗 佐賀	△林 孝之 山口	林 正明 熊本
濱野 鐵三 熊本	橋本 壯 熊本	(元眞崎) 茂彦 福岡	原 弘 熊本	原 文夫 長崎
原 介夫 佐賀	日高 隆一 宮崎	日高 義隆 福岡	廣吉 清一 福岡	福内 正陸 福岡
△分 田 淑鹿兒島	藤畑 博一 鹿兒島	細川 義一郎 宮崎	堀田 博雄 佐賀	○松本 武彦 長崎
△町 久 築 高知	前田 知佑 山口	牧野 昌雄 東京	水野 久 長崎	水民 正吾 熊本
見元 良平 高知	荻原 哲夫 福岡	荻手 重安 長崎	宮園 一男 鹿兒島	光武 源太郎 佐賀
光富 慎吾 山口	村田 昌稔 福岡	山口 壽太郎 山口	麥谷 淳 石川	毛利 壽夫 鹿兒島
森田 三郎 奈良	山口 峻 宮崎	山口 正比古 佐賀	山本 文男 福岡	山崎 晴一郎 福岡
湯木 利正 福岡	山崎 峻 宮崎	横倉 弘吉 福岡	横林 久之 兵庫	(元清水) 吉岡 伍郎 鹿兒島
和田 博夫 栃木	芳野 清治 愛媛	横倉 弘吉 福岡	横林 久之 兵庫	

昭和十五年入學

阿部 研兒 福岡	荒瀬 知己 熊本	明石 一男 山口	安藤 格 大分	井上 剛 福岡
井口 泰 熊本	井口 工 福岡	伊藤 正孝 福岡	伊藤 助雄 福岡	池尻 泰雄 福岡

石澤 正一 廣島	市吉 親夫 福岡	今城 康彦 山口	磯永 克巳 山口	植田 久彌 福岡
占部 公生 福岡	鷓池 牛藏 佐賀	△上田 忠夫 大分	大坪 謙二 佐賀	大久保 博 岡山
大北 良輔 愛媛	大島 好四郎 鳥取	○緒方 弘之 佐賀	緒方 保之 佐賀	岡村 晃 佐賀
小田 英夫 廣島	鴛海 正孝 大分	神崎 經幸 鳥取	△川崎 靜秋 鹿兒島	勝田 京一 茨城
兼坂 武比古 千葉	城戸 良之助 佐賀	久保 邦廣 宮崎	小柳 浩三 佐賀	小柳 喜美 佐賀
小沼 寛 茨城	權藤 嘉治 福岡	△坂田 元 福岡	坂田 正三 鹿兒島	坂本 秀雄 佐賀
坂本 亨 茨城	櫻井 孝 福岡	定村 修吾 福岡	柴田 雄藏 大分	城下一 豊 熊本
○菅原 一磨 福岡	菅原 芳人 熊本	杉江 悦夫 福岡	仙波 嘉孝 愛媛	△瀬戸口 弘 福岡
關場 一男 宮崎	△田村 孝一 福岡	田中 敬一 山口	田村 豊 東京	瀧 義勇 福岡
(元劉聯益) 瀧原 哲一 山口	△高園 愛司 佐賀	竹内 健一郎 高知	谷 太郎 徳島	樽美 信一 長崎
龍田 信義 臺灣	○辻 季夫 長崎	津和崎 重俊 福岡	△筒井 賢吉 福岡	德元 勳 鹿兒島
得能 長枝 廣島	友清 隆雄 福岡	中村 康一郎 福岡	中島 達夫 徳島	永尾 重男 徳島
永井 功 鹿兒島	長野 辰一郎 愛媛	△西田 欣一郎 福岡	西田 實穎 廣島	野村 戢 大分
野中 秀樹 佐賀	八田 次郎 福岡	八郷 速雄 鹿兒島	林 榮治 山口	原田 重行 鹿兒島
服部 絢一 福岡	蓮尾 祥二郎 福岡	伴 清澄 福岡	開 誠 熊本	樋口 獎 福岡
△平川 良秀 佐賀	福島 裕 岡山	福岡 元 愛媛	福田 廣治 佐賀	藤重 靖 山口
藤田 吉彦 福岡	藤野 忠雄 大分	藤井 克己 佐賀	船津 純彦 福岡	△本田 修 鹿兒島
本間 公一 福岡	鮑 耀 東 中國	松原 達人 山口	松下 充 福岡	△本田 修 鹿兒島
(元林) 牧野 新澤 臺灣	△宮地 一馬 佐賀	宮宗 正明 長崎	△宮下 誠 鹿兒島	△水谷 武春 熊本
村本 努 徳島	村上 武夫 鹿兒島	村上 英一 熊本	森下 公平 福岡	本康 宗基 福岡

○學生及生徒姓名(醫學部)

(元周永欽) 山口千勝 廣島
吉川清峯 廣島

八板康正 廣島
林瑞銖 廣島

橫島德弘 東京
渡邊俊磨 佐賀

吉成意之 熊本
渡邊健兒 愛知

吉田弘 廣島

昭和十六年入學

吾河久遠	廣島	秋田稔	熊本	有馬和雄	山口	石谷五郎	山口	一本杉恭彦	廣島
井上權治	福岡	今井直夫	福岡	今村英司	福岡	岩井廣好	大分	植田洋一	茨城
△植村慶男	廣島	上村芳就	熊本	內田正	山口	榎本彰	福岡	岡成仁	山口
岡村幹雄	山口	小川寬	廣島	小笠原康生	福岡	太田齊護	熊本	大田信五	廣島
大田原靖男	宮崎	△鬼塚澄夫	福岡	(元本多) 小原三好	廣島	釜付健一	廣島	河田健二	香川
神田國治	廣島	木村幹生	香川	木下智十郎	長崎	釘宮嘉郎	大分	倉恒匡德	鳥取
倉光宏	熊本	高屋長英	福岡	兒玉裕行	廣島	小松田弘之	山口	小山利武	佐賀
近藤平一郎	德島	合屋長英	福岡	佐野雋一	大分	重松平臣	佐賀	志村秀彦	香川
白石幸弘	廣島	白川淡水	福岡	陣內大丈夫	佐賀	杉野次郎	佐賀	往江直	熊本
角國泰藏	廣島	瀨尾政記	山口	高森通夫	宮崎	武田鶴城郎	宮崎	武田與平	福岡
武谷健二	福岡	田代友禧	福岡	田中清一	福岡	田上巳一郎	熊本	田丸貞偉	宮崎
塚田一彦	宮崎	築山達雄	福岡	佃發	香川	堤敬吾	大分	東儀高	廣島
德田修	山口	富永泰司	兵庫	鳥谷晉一	大分	中野謙吾	三重	長尾喬弘	福岡
長崎信行	福岡	西尾篤人	廣島	仁科一雄	福岡	○西村盛博	熊本	野川延吉	岐阜
野邊哲男	宮崎	野村紅式	新潟	林武男	山口	馬場秀雄	廣島	△日高保志	廣島
平岡覺	長崎	弘中哲也	鳥取	廣橋勉	福岡	福庭克郎	鳥取	福山萬樹	三重

藤井弘吉	廣島	○藤井清太郎	佐賀	△藤崎茂繼	佐賀	藤瀬哲則	佐賀	冬野誠一	佐賀
古山泰	千葉	兵働貞夫	佐賀	堀田政春	熊本	益子陽太郎	福岡	見明健治	長崎
三木哲	大分	三井望	山口	三橋榮	福岡	宮腰得平	秋田	森輝男	佐賀
森田博	長崎	諸富昌輝	佐賀	山崎慶二郎	福岡	山下善啓	佐賀	結佐數馬	福岡
吉岡久晃	福岡	△吉田收	岐阜	吉利正彦	廣島				

昭和十七年入學

荒川洋	長崎	荒木秀夫	長崎	有居元甫	德島	安樂兼昌	宮崎	井上進祐	熊本
井上宣夫	福岡	井口潔	福岡	伊藤政人	山口	石井進	廣島	石橋欣一	福岡
石原光六	德島	石原不可止	廣島	磯崎慶作	廣島	今重幸雄	廣島	今任準一	福岡
市川博	山形	岩崎卓郎	岡山	岩本勝之助	山口	岩本吉雄	廣島	白井正隆	佐賀
内田奎文	熊本	内之浦明	宮崎	浦本龍生	熊本	江頭正義	佐賀	江下博彦	福岡
江畑正	廣島	小川朗	愛媛	小田徹也	東京	小山浩平	熊本	大野進	茨城
太田伸一郎	長崎	尾辻春三	廣島	押領司源一	廣島	岡部信彦	福岡	角清隆	山口
角川忠雄	廣島	鹿毛昌夫	福岡	片山暉	廣島	川上景司	福岡	菊池弘	宮崎
岸本幸健	神崎	北村勝俊	廣島	城戸春分生	福岡	行徳博之	福岡	木下太郎	福岡
桐野浩二	廣島	桐山泰定	福岡	久木田民三	廣島	國重憲	岡山	厨節夫	福岡
久米川久夫	德島	黒木健夫	宮崎	鍛塚登喜郎	長崎	古賀道弘	福岡	後藤昌義	福岡
後藤弘二	大分	額綱教三	岐阜	神品吉幸	大分	權藤泰行	福岡	佐藤二郎	福岡
笹原國幸	熊本	篠原俊雄	山口	下山宏	岡山	白石正士	福岡	芹川滋	熊本

○學生及生徒姓名(醫學部)

國本厚	宅野五郎	武内秀三	田中義文	谷山信夫
堀正之	津村直孝	寺脇保	時任直人	永田静一郎
永田豐作	中島拓治	中島敏彦	成富正	西岡純三
西原康雄	野間祐輔	野浦幸六	橋本剛明	畑一
林謹也	原正臣	原岡潔	日高英幸	平木文雄
福田正	堀川龍一	本間守一	藤永敏生	藤田一郎
藤本美二雄	松岡芳夫	松本一彦	前山巖	牧角三郎
松井敬介	望月祐二	本里義俊	松元俊雄	光武良矩
宮川彌太郎	安田和夫	柳瀬敏幸	山田英智	森田勉
安武正平	吉田正規	吉利	吉松志郎	山田敬一郎
行村正				渡邊英一

第三 工學部學生

昭和十年入學

土木工學科

葉仁

機械工學科

△印八海軍委託學生
□印八陸軍委託員外學生

簡卓堅

航空工學科

鄧祐直

昭和十一年入學

機械工學科

鈴木平八

應用化學科

久保田尙武

昭和十二年入學

電氣工學科

大村次郎

昭和十三年入學

機械工學科

篠原猛夫

○學生及生徒姓名(工學部)

電氣工學科

川村晴夫 高知

昭和十四年入學

土木工學科

島崎和忠 福岡

機械工學科

竹原亮 福岡

電氣工學科

木村長生 熊本

應用化學科

村上利夫 愛媛

航空工學科

柴尾徳次郎 福岡

昭和十五年入學

永松正人 佐賀

山口辰夫 鹿兒島

土木工學科

石崎誠一郎 佐賀

板尾一郎 石川

大地羊三 千葉

桂卓夫 京都

甲山隼夫 福岡

城義夫 熊本

陣内輝也 佐賀

林鋼太郎 富山

室屋清次 鹿兒島

古江健一 福岡

機械工學科

阿部圭三 福岡

安藤裕 大分

江頭精一 福岡

大町鐵矢 佐賀

木本知男 福岡

木下和夫 佐賀

後藤治平 大分

猿木辰彦 熊本

德田樹一 山口

十時昌 福岡

森弘 福岡

山田貞雄 香川

電氣工學科

安藤正和 福岡

井關巖 歌山

源城幸生 大分

齊藤邦人 佐賀

谷崎美敏 福岡

中野正敏 福岡

廣木軍史郎 佐賀

堀文麻呂 大分

諫山廉 大分

清瀬品 佐賀

玉泉大久 福岡

井上富夫 兵庫

久野木義人 富山

田中義人 京都

桑城温 香川

深澤幸正 福岡

田中弘顯 群馬

村崎明 福岡

岩崎彌太郎 福岡

井上順吉 福岡

河原英磨 福岡

河喜多賢二 福岡

倉本芳造 廣島

久場重民 宮崎

高橋清 福岡

田中重雄 福岡

松岡靜雄 佐賀

村川勝彌 山口

代居雄務 佐賀

石河陽二 愛媛

井戸司 熊本

田中敏郎 福岡

田中七之助 福岡

石井忠一郎 佐賀

鳴田光章 廣島

田中敏郎 福岡

西依祥一 佐賀

林晃 東京

中假屋宗隆 鹿兒島

室住敬三 福岡

宮副泰 福岡

村田英夫 福岡

○學生及生徒姓名(工學部)

森谷辰夫 山形 梁瀬義人 長崎 八木勝 山口 安元一善 福岡

應用化學科

伊木浩 熊本 内野良信 富山 小野貞輔 福岡 海田健次 佐賀 甲斐惟幸 大分
柿元正雄 鹿島 片山澄夫 熊本 栗岡亀夫 兵庫 合原精一 福岡 佐藤止戈生 大分
下川善春 佐賀 園田成伊 東京 高柳素夫 東京 田尻啓 鹿島 津田正衛 東京
西岡達夫 佐賀 西村虔 佐賀 服部榮一 福岡 濱田英郎 鹿島 平岡和一郎 石川
藤松義人 佐賀 松本陽吉郎 鳥取 村上昌三郎 福岡 森成志 福岡

採鑛學科

井内淳介 奈良 大庭辰雄 兵庫 織田亮三郎 大分 古賀久雄 福岡 齊藤勤 徳島
猿渡健 熊本 國本豊一 朝鮮 田中誠 福岡 高橋且 愛媛 高木義郎 東京
高村養之助 栃木 立川泰夫 大分 中村博雅 東京 中村宏 佐賀 野見山義友 福岡
松隈喜總 福岡 三小田重夫 福岡 水上四郎 佐賀 守谷正 東京 山本靖雄 佐賀
吉嗣元道 福岡

冶金學科

井内正太郎 廣島 鬼塚正信 長崎 小田芳郎 福岡 尾形孝 福岡 加藤毅 廣島
齊藤一生 福岡 下郷良雄 廣島 德久不二男 佐賀 原克郎 山口 橋岡隆邦 廣島
樋渡義忠 佐賀 平石長義 山口 藤瀬不死生 福岡 藤森立雄 長野 松本卓也 靜岡

造船學科

間崎英夫 高知 益満午郎 鹿島 山内敕靖 廣島 山本政秋 廣島 山下竹三 長崎
渡邊章三 福岡 渡邊義毅 福岡 渡邊英壽 愛媛

航空工學科

荒木邦夫 富山 江崎一彦 福岡 大谷榮一 岡山 小牧祥夫 宮崎 皿谷嘉夫 山形
齋藤正一 石川 田中茂之 長崎 德永陽一郎 東京 馬場太平 福岡 橋本隆年 熊本
水木三郎 山口 吉岡義忠 千葉
井手守三郎 佐賀 岩崎松之助 鹿島 高岩和雄 廣島 高柳敏和 廣島 竹ノ内光義 鹿島
速水六右衛門 福岡 村上英夫 熊本 山手四朗 福岡 吉野重治 福岡 渡部孝 徳島

昭和十六年入學

土木工學科

淺田善司 山口 池田久夫 福岡 稻葉晃 鹿島 茨木彬 鹿島 浦川一郎 佐賀
岡本是孝 佐賀 尾崎重雄 福岡 小原豊 石川 片岡勘二郎 高知 古賀公平 福岡
須藤實 大分 田中茂文 福岡 茶屋浩夫 鹿島 林良夫 山口 日向野良世 栃木
廣瀬正 富山 村田直良 福岡 柳澤四郎 長野 山根幸雄 廣島 山家義雄 宮城
雪竹秀臣 佐賀 横田光彦 東京

○學生及生徒姓名(工學部)

機械工學科

池田隆春	佐々木誠治	塩川元男	倉田順平	木尾義隆
近藤茂美	多田清	土持敬三	島崎育夫	白坂光
城島正治	西川象康	原口成人	寺山泰雄	中川銳一
西尾正克	松浦徹	松本忠	林健治郎	平部正博
福島尙幸	山木克巳	吉田鐵男	向井貞三郎	安田健治
八幡純暢		吉田一夫	吉仲一夫	渡邊周彦

電氣工學科

池田重郎	伊佐憲三	佐藤一郎	神宮司基臣	高田茂夫
武下定四郎	飛松徹	西田健二郎	馬場康夫	初瀬明
濱田一男	原田利雄	樋口司	福澤久	待鳥正
百崎忠士	彌永稜			

應用化學科

淺野眞弘	岩橋國雄	井村洋一	大石行理	太田喜次郎
岡田繁雄	柿田彰一	角田久	久保秋伸	佐々木敏
佐藤晋平	下川和夫	清山哲郎	竹下健次郎	竹森正
田中親幸	泊康雄	中川芳彦	中山守	西脇順三郎
野口信孝	橋本直三郎	肥後藤彦	久野武夫	藤野勇三

探鑛學科

横良之	松岡重一	水町二郎	安武篤	山田石生
曠野泰二郎	尾石照雄	公文一郎	坂口義太郎	寺田展造
中井冽	伯谷直巳	村田耳		

冶金學科

荒卷純正	伊丹高彦	井上双彦	井手口浩	岡部繁正
大西芳雄	織田貞四郎	木許正人	工藤大良男	古賀卓郎
古賀生美	坂本幸夫	杉野導人	鶴敬二	榊野秀夫
德廣祐之輔	富倉稔	野間孝三	藤野紫郎	松田公扶
村上新	吉田正人	渡邊晴夫		

造船學科

青木照彦	井本武	上田茂	岡村泰介	香川昇
桑野研一	古賀福淡	羽田野哲郎	福田淳一	穂積邦昌
松永和介	前田和雄	元山茂樹	山形聰	山下元夫
和田壽	西口德治			

航空工學科

諫山誠	飯田功男	猪俣太郎	占部友一	江里口研一
-----	------	------	------	-------

○學生及生徒姓名(工學部)

同部淳一 福岡 帶屋文夫 長崎 小樋一郎 福岡 澤村雄三郎 熊本 坂本壽春 高知
 志摩耕太郎 東京 田中司馬 鹿兒島 高橋和夫 山形 中村信二 和歌山 長與吉夫 長崎
 秀嶋卓 佐賀 松本英敏 東京 村山忠男 德島 村瀬正光 愛知 吉田健 福岡
 △山口健一 東京

昭和十七年入學

土木工學科

石橋勳 福岡 伊地知健一 鹿兒島 伊藤甫 福岡 大島博 山口 小山和雄 兵庫
 河田豐 長崎 小西次郎 岡山 澤田寬 熊本 信田正雄 愛媛 柴田秀雄 熊本
 星野哲三 新潟 寺島信夫 鹿島 長野逸人 鹿兒島 野田弘二 鹿兒島 早川力 富山
 福田吉明 福岡 南方茂雄 和歌山 村上清次 熊本 山崎德也 廣島 山高茂 東京

機械工學科

荒木一明 熊本 岩永信 長崎 岩本弘明 佐賀 植村一良 山口 小城左昌 福岡
 小田原一男 福岡 金森泰三 富山 北原一美 福岡 木村信一 福岡 黒木利一郎 宮崎
 桑野正文 福岡 小柳茂治 佐賀 近藤誠造 岡山 坂上武敏 長崎 佐々木正美 鹿賀
 笹栗靖文 福岡 佐藤雄二 福岡 島健二 福岡 竹田信行 北海道 谷重彌 福岡
 塚本正文 東京 筒井謙二 佐賀 德島敏雄 佐賀 中川干城 熊本 中野茂彌 福岡
 中村太一 福岡 沼田武久 茨城 野々村太郎 熊本 芳賀茂之 福岡 濱田久光 東京
 增岡哲雄 廣島 益田進 熊本 增永一郎 熊本 前田稔 佐賀 光安繁記 福岡

宮崎文雄 福岡 守住克巳 熊本 森本周造 富山 森脇護 山口 矢動丸 哲 長崎
 △秋田正一 靜岡

電氣工學科

青木武志 福岡 井上一郎 長崎 入江富士男 福岡 飯田哲雄 福岡 江口善保 佐賀
 佐々木英司 東京 武内啓夫 石川 田中實 福岡 檜崎清雄 福岡 脇岡幹卓 鹿兒島
 三谷尙正 島根 吉澤敏郎 栃木 吉富直俊 福岡

應用化學科

安藤俊之 山口 池田純一郎 熊本 井上玄祐 高知 岩崎博四 廣島 上野景平 熊本
 齋貞亮 香川 加藤重雄 京都 神崎利勝 福岡 栗田清 福岡 迫村壽男 大分
 柴田明賢 福岡 高尾敏明 福岡 堤茂人 佐賀 德住唯一 熊本 得重壽光 山口
 中野勝 大分 八田町男 熊本 平野勝秋 福岡 廣瀬英二 香川 福島弘 福岡
 堀内俊也 福岡 增野和平 兵庫 三根剛四郎 長崎 森繁國 宮城 柳ノ瀬健次郎 佐賀
 横山祥 福岡

採鑛學科

阿蘇谷延 吉鹿兒島 井口鍊二郎 福岡 上田圭助 愛媛 江口伸 佐賀 緒方毅 佐賀
 小田義男 山口 小野寺清兵衛 岩手 木村守利 福岡 栗本駿 大分 柴藤嘉平 福岡
 高井敏夫 香川 永光章 福岡 西村信 石川 平山國夫 熊本 松尾民爾 佐賀
 山形利一郎 福岡 山崎稜 愛媛 油田幹夫 福岡 米谷博行 兵庫

○學生及生徒姓名(工學部)

冶金學科

赤沼利彦 山口
江崎正幸 福岡
北岡福平 兵庫
中西史戒 廣島
柳ヶ瀬勉 佐賀

石川祐二 東京
大久保一郎 大分
小林康男 山口
堀一夫 大阪

磯野修三郎 福岡
太田裕 長崎
副島一雄 長崎
道野哲也 山口

上田正彦 福岡
小山卓也 熊本
高山恭 福岡
光井清 廣島

江上英一 福岡
菊次賢二 福岡
中島保彦 兵庫
森寺宗一郎 福岡

造船學科

青柳省三 東京
小川修 大分
古賀雄爾 福岡
正村一夫 愛知
田尻漸 熊本
中村健二 大分
平井三郎 神戶
松岡孝光 福岡

章原健 鳥取
片岡謹三 兵庫
小林義則 山口
蘭田文雄 鹿兒島
田畑建次 福岡
内藤和明 福岡
藤井實 廣島
眞鍋宏 福岡

伊藤弘次 福岡
兼重信 山口
佐伯廣助 佐賀
田才福造 福岡
平博德 山口
西原久 福岡
松尾尙 宮崎
森田耕二 熊本

祝輝 鹿兒島
河相保 廣島
西郷敏行 熊本
田島義弘 埼玉
津野田京輔 宮崎
野上祐徹 富山
松前建男 熊本
八木和夫 香川

小川頼一 福岡
日下部哲 福岡
島田博之 福岡
田中雄三郎 福岡
豐福義男 福岡
濱崎周作 熊本
前田博 愛媛
山田武雄 和歌山

航空工學科

秋山一郎 東京
江頭一男 福岡

秋山鎮男 新潟
江幡諒 茨城

井上保艾 熊本
小笠原長義 長崎

伊庭一郎 和歌山
小川守正 兵庫

庵原新太郎 福岡
奧蘭麟一郎 福岡

第四 農學部學生

昭和十三年入學

農學科

岡田泰敏 長崎
木村剛三 福岡
芹川正敏 福岡
土屋明 鹿兒島
林田弘 東京
三戸宣行 山口
△田上常治 熊本

織田邦夫 大分
小路博 長崎
高橋三又彦 廣島
中原勳平 岡山
平井敬典 福岡
森惠吉 長崎

大坂榮一 岐阜
櫻井三雄 宮崎
高橋博 福岡
橋詰誠 福岡
古田正起 廣島
山口文二 鹿兒島

河合辰夫 廣島
柴原邦安 長崎
田原哲郎 福岡
原哲要 福岡
松尾源一郎 長崎
湯原法一 鹿兒島

喜多孝彰 福岡
重松俊宏 福岡
格東一郎 山口
早生隆彦 宮崎
松尾泰門 長崎
吉田博敬 福岡

福喜多 茂 東京

農藝化學科

大木良久 東京

林學科

谷口榮一 京都

○學生及生徒姓名(農學部)

昭和十四年入學

農學科

溝上 淳爾 佐賀

農藝化學科

天尾 辰三 新潟

白水 康弘 福岡

西山 芳樹 鳥取

林學科

大久保 米二 長崎

黑鳥 忠 新潟

昭和十五年入學

農學科

岩井 有三 石川

上田 達雄 鳥取

上野山 文彦 和歌山

小田 良助 福岡

香月 正一 福岡

金子 信夫 長野

神川 安秀 鹿兒島

岸 憲一 奈良

金 寅 權 朝鮮

工藤 洋男 熊本

河野 浩 廣島

下島 久雄 長野

鈴江 昇 徳島

丹野 與一 宮城

津島 富繁 山梨

藤本 新一 熊本

水上 浩躬 福岡

村井 一郎 岡山

村西 三郎 滋賀

室賀 利正 長野

毛利 重彌 福岡

由井 重文 山梨

李 春 成 朝鮮

農藝化學科

池田 宏 香川

稻野 守一 長崎

井上 重實 福岡

岩井 周三 大阪

岩崎 明 新潟

岩崎 光雄 福岡

今井 寛 廣島

上杉 勝昭 東京

大串 晃治 佐賀

神崎 閑一 福岡

金子 啓作 東京

神田 見八 大分

菊谷 元資 山口

小佐嘉 博 福岡

小西 知雄 東京

杉本 一臣 鳥取

關屋 義治 佐賀

高橋 光雄 鳥取

張 貞 鉉 朝鮮

中西 勝三 大阪

中西 信美 石川

西 壽 巳 三重

西原 長久 愛媛

林 兼之亮 鳥取

朴 奉 守 朝鮮

三浦 馨 福岡

宮崎 好高 徳島

八木澤 喜平 栃木

安田 春太郎 兵庫

山岸 芳衛 長野

吉村 岩男 鳥取

渡邊 要助 栃木

八木澤 喜平 栃木

安田 春太郎 兵庫

山岸 芳衛 長野

林學科

荒井 元之助 福岡

石井 佐吉 群馬

岩田 修三郎 愛媛

江刺家 憲美 岩手

小田 許久 福岡

大矢 壽三 三重

大福 喜子男 愛媛

田島 良男 大分

友松 文夫 福岡

鳥橋 健一 鳥取

西川 徹 熊本

藤井 克巳 山口

松本 勲 長崎

矢島 和夫 埼玉

鳥橋 健一 鳥取

農業工學科

飯泉 昭 千葉

井手 正明 東京

田代 靜夫 福岡

林 浩平 鳥取

三木 久壽 徳島

昭和十六年入學

農學科

阿部 新 秋田

東 正夫 千葉

伊藤 一雄 秋田

岩淵 早雄 群馬

梶田 治 兵庫

金川 寅煥 朝鮮

佐藤 正一 宮崎

佐村 孝人 山口

嶋田 敏郎 秋田

杉本 平 岡山

○學生及生徒姓名(農學部)

田中修二 兵庫 西澤正洋 福岡 福島一雄 兵庫 本田稔 廣島 望月正巳 長野
森津孫四郎 兵庫 吉住清昇 福岡

農藝化學科

赤坂嘉員 福岡 芥田三郎 兵庫 安孫子廣一 山形 石津一貫 大阪 伊吹幹夫 愛知
小川德道 東京 大津隆 熊本 川俣中直 茨城 神田喜夫 奈良 桐山博 兵庫
小岩井達郎 長野 芝田義照 鳥取 末次鐵彦 福岡 杉田守 大阪 高木睦夫 熊本
田邊勇 新潟 谷口五郎 鳥取 塚本新次郎 大阪 津村武夫 京都 中井武文 鳥取
中村豐 山口 野本光一 東京 日隈勇機 熊本 松井平八郎 廣島 松井清 新潟
望月一男 山梨 楊培 森 瀧 國山 矢吹耀男 岡山 山口忠次 長崎 山本治夫 靜岡

林學科

安蘇國猛 福岡 小島俊吉 千葉 島俊雄 茨城 高田主計 愛知 竹川正一 朝鮮
千葉宗男 岩手 馬場義人 鳥根 山部治邦 熊本

水産學科

川副東 佐賀 福永瑛 福岡 森松寬 愛媛 梁瀬正雄 朝鮮

農業工學科

田原虎次 福岡 橋原秀雄 廣島 松田正二 石川

昭和十七年入學

農學科

伊藤修四郎 京都 磯邊幸雄 福岡 勝木辰男 東京 菅野啓一 福岡 佐山友明 愛媛
塩谷信義 鳥取 白川載英 朝鮮 田代隆 山口 東田孝介 兵庫 古山二三雄 千葉
坊垣隆夫 兵庫 山下正義 愛媛 渡邊好郎 岩手 町田道教 長崎

農藝化學科

赤星恭助 熊本 合瀬健正 佐賀 石貫博 熊本 牛木優二 新潟 沖増哲 廣島
大木幸介 東京 黃村義吉 朝鮮 後藤清 愛知 坂口幸男 奈良 種ヶ島嘉久 鹿兒島
照本博 北海道 西尾優 鳥取 西原典則 福岡 西村敏藏 廣島 西羅寬 兵庫
早野靖之 埼玉 東哲郎 福岡 堀江進 廣島 益山新六 大阪 水城正人 福岡
守康則 福岡 八木澤勝 栃木 安田誠一 福岡 山本武彦 秋田 行田久友 大分

林學科

赤木正之助 山口 秋山辰三 福岡 猪瀬理 栃木 加藤久光 宮崎 北原文男 長野
橋高義郎 廣島 坂本淳 山口 千葉茂 栃木 中村正五 京都 泥谷藤美 大分

水産學科

片山輝久 香川 重松隆一 福岡 錢谷武平 奈良 塚原博 愛知 林一雄 東京
松原孝之 北海道 山本兵助 福岡

○學生及生徒姓名(農學部)

農業工學科

越 信次 長崎 櫻井 芳水 福岡 藤川 武信 廣島 吉原 恒治 佐賀

第五 法文學部學生

(○△印ハ在學繼續者)

昭和十年入學

蔡 南 冠 中津 藤原 宏 長崎

昭和十一年入學

小西 武夫 香川 古賀 蒸 福岡 山崎 邦男 廣島

昭和十二年入學

黑野 清 東京 三村 重典 福岡

昭和十三年入學

黑田 元彦 福岡 高尾 本次 佐賀 立花 龍郎 福岡 田中 一俊 福岡 中西 一夫 三重

昭和十四年入學

穴井 英治 福岡 猪股 末秋 熊本 江口 一政 鹿兒島 岡本 信孝 大阪 鹿毛 敬介 福岡
佐久間 正一 東京 森山 長造 福岡 湯川 直三 和歌山 渡邊 修 島根

昭和十五年入學

法學士志望

青塚 繁志 熊本	在田 一雄 兵庫	井川 與 長崎	池田 直視 長野	伊藤 近次 大分
井上 清憲 鹿兒島	井上 哲雄 島根	井上 正治 山口	井上 義階 香川	岩松 宇佐雄 佐賀
宇賀田 明 東京	内海 滿德 廣島	江口 君生 佐賀	江口 潔 佐賀	大塚 純一 福岡
大石 誠 福岡	大平 新七郎 廣島	萩島 茂樹 福岡	萩巢 通俊 愛知	奥村 彰 兵庫
長田 浩 千葉	貝島 正二 福岡	鍵山 通 福岡	梶山 武雄 山口	兼行 平八 福岡
川本 美次 廣島	鎌田 朝資 宮城	烏丸 光喬 東京	(元金錫起) 金江 俊一 福岡	木内 啓一郎 長野
岸本 重幸 兵庫	木下 吉雄 熊本	姜 聲 朝鮮	金 周 朝鮮	久保 昌平 東京
久保 敏夫 東京	熊谷 藤三 福岡	熊谷 正雄 山口	黒田 繁雄 埼玉	小出 良治 愛知
高良 民夫 福岡	越山 文哉 北海道	近藤 兼義 愛媛	笹盛 廣信 徳島	澁谷 勇次郎 宮城
申 榮 朝鮮	瀬川 幹夫 香川	高本 一郎 福岡	笹盛 廣信 徳島	高山 芳雄 佐賀
(元崔圭弼) 高 山 朝鮮	武 並 壽 岡山	知野 虎雄 和歌山	手島 秀享 福岡	寺崎 勝美 佐賀
中澤 多賀夫 大阪	中西 貞夫 廣島	中野 收 東京	西部 房之 山口	野口 勝人 福岡
野口 浩堂 福岡	橋本 勇 鳥取	橋本 象太郎 岡山	樋口 周一 福岡	樋口 洋 佐賀
日高 彰悟 福岡	一柳 末幸 兵庫	日石 朝之 廣島	日野 勳 岡山	福田 收 廣島
福地 貞雄 茨城	藤 平 寛 香川	振井 茂豊 島根	古川 浩三 京都	戸次 吉兵衛 福岡
星野 光男 群馬	堀江 秀典 富山	松尾 卯七 長崎	松尾 義博 山口	松本 清 福岡

○學生及生徒姓名(法文學部)

松見舜一郎 滋賀
村上享司 廣島
山田武久 福岡
柳炯達 朝鮮

(元李親桂)
牧山秀正 朝鮮
元田二郎 東京
山田奉日兒 大分
李炯鎬 朝鮮

御厨成彦 東京
森直行 岡山
山本政弘 富山
渡邊純一 福岡

三宅周防 山口
柳原數馬 福岡
吉浦淨真 廣島

村井隆重 熊本
山崎智德 山口
吉田一宣 福岡

文學士志望

石川重俊 宮城
香川見悟 廣島
習田達夫 京都
永井寬 鹿兒島
堀内基吉 廣島
渡邊文字 福岡

一力秀雄 佐賀
片子澤千代松 青森
七里眞水 長崎
中田脩 三重
本多四郎 兵庫

上岡周介 三重
清川逸郎 兵庫
島尾敏雄 福岡
中林正雄 三重
松本眞昌 大阪

江嶋壽雄 福岡
伍賀道一 岡山
玉井千博 福岡
林榮一 大阪
宮下忠吉 兵庫

海江田健行 鹿兒島
小松光 福岡
中井龍澄 香川
東嗣 長崎
村上和男 兵庫

經濟學士志望

秋吉兵馬 福岡
安達新十郎 滋賀
有田俊彦 福岡
伊藤三男 三重
上野政次郎 和歌山
大河内一隆 佐賀

淺野恂之 愛媛
安部健兒 福岡
生野義範 鹿兒島
稻垣泰夫 京都
漆畑寛 福岡
大國明 島根

淺野節夫 大阪
安部孝志 福岡
伊東敏碩 佐賀
井上眞澄 福岡
江口邦夫 佐賀
大坪芳樹 福岡

芦原長生 佐賀
阿部梯四郎 徳島
石黒義久 高知
今村憲祐 福岡
小川公彦 福岡
大本滋 岡山

安達欣二郎 福岡
荒川忠勝 福岡
磯村義男 山口
内田秀一 鹿兒島
奥又一郎 山口
尾崎太郎 兵庫

加賀谷健二郎 秋田
勝井一雄 長崎
川口武彦 東京
國武正喜 福岡
古賀良明 佐賀
齋藤忠藏 山形
佐伯彌三郎 廣島
眞宅勝馬 山口
高辻松雄 大分
堤一巳 三重
藤金二郎 福岡
中村壽一 大阪
藤井廣潤 福井
増永金一 熊本
三好四郎 東京
森部義憲 愛媛
山田八郎 宮城
若山梅夫 愛知

角田義一郎 大阪
金澤奈良夫 徳島
木下康 福岡
桑谷力 鳥取
小林武司 福岡
佐々木高幹 福岡
鹿野正久 東京
末永富士 愛知
瀧口一郎 大阪
津矢田萬里生 三重
富田芳生 佐賀
中村博 山梨
船津寅夫 福岡
松崎和義 福岡
村里常信 長崎
安村誓 福岡
山本乙彌 兵庫
和記節夫 石川

鹿毛忠男 福岡
金井一郎 愛媛
木村環 愛媛
黒川和三四郎 岡山
西郷武彦 東京
佐々木大七 兵庫
重枝琢巳 山口
須佐一郎 島根
田口治郎 長崎
都留大治郎 大分
富久嘉夫 福岡
中村康治郎 大阪
朴準玉 朝鮮
黛實 東京
本吉久夫 北海道
柳川隆 兵庫
吉川英世 大阪

樗野守眞 千葉
川崎貞俊 福岡
金益魯 朝鮮
黒田平 福岡
齋藤嘉藏 大阪
佐藤和男 山梨
四條隆貞 東京
鈴木四朗 宮城
田中篤 福岡
調所泰 東京
中桐彌太郎 岡山
碓靜臣 福岡
前川浩三 長崎
水城秀夫 福岡
森侃二 岡山
山口健一郎 埼玉
余田博通 福岡

加藤康夫 千葉
川上一雄 福岡
國可保夫 山口
小網敏靖 大阪
齋藤九穂 愛知
佐藤時行 愛知
篠原茂 大阪
宋禮植 朝鮮
谷村武 福岡
鄭海根 朝鮮
永松和敬 大分
平田文彬 東京
眞下正一 群馬
南方久雄 和歌山
森澄夫 長崎
山中義隆 福岡
李丙詰 朝鮮

昭和十六年入學

○學生及生徒姓名(法文學部)

法學士志望

青野 肇	足立 亮介	淺原 醇資	穴澤 達男	有馬 啓
伊藤 博	井上 滿	井上 公平	池田 宏	石井 平八郎
岩仲 秀武	小野 善廣	尾辻 治郎	小田木 秀雄	大森 貞一
甲斐 敬義	河本 正之	川野 利彦	河野 通夫	神田 一郎
川合 卓也	清 苗	木津谷 哲郎	岸本 利一	楠瀬 日出雄
楠本 哲夫	小松 仁	五島 運彦	小林 介一郎	小脇 一海
佐藤 章	沈 同	鈴木 武彦	砂田 公德	高田 一幸
武田 誠夫	高原 久義	高江洲 英正	高木 賢次郎	田中 寛吾
土田 兼孝	筒井 眞	鶴田 剛彦	德永 精作	富松 寅之輔
外山 源一郎	長崎 弘	永島 喬	中村 良亮	西口 進
西川 宏	西野 九良	野口 尚	野口 博智	白 尙
秦 慎二	橋本 忠三	平田 勝雅	平野 貞一郎	藤原 清孝
古野 壽	振屋 武男	増田 憲一	松井 豊	松下 敏郎
松本 忠男	宮地 米藏	眞殿 眞治	水落 澄男	村上 宗
三橋 毅一	目黒 任	宮本 泰知	室田 治郎	村木 正七
宗山 秀隆	安武 克	本瀬 戸隆夫	森田 辰男	森 義久
梁瀬 長久		山本 茂		

文學士志望

上杉 邦夫	上田 一雄	大森 創造	片山 太郎	河井 一郎
清田 正喜	清松 久登	金 昌 鎭	古賀 平七	佐藤 信哉
澁谷 素男	辻 豊	秦 慎二	三 鴨 清	宮城 信勇
八東 孝弘	八並 久美子	山岡 弘瑞	森 道 男	渡邊 正氣

經濟學士志望

饗庭 源吾	秋良 光男	荒木 正治	池田 一浩	石橋 保夫
伊藤 岩	井上 博	内田 茂	上田 芳安	上村 健一
梅本 太郎	植山 隆幸	織田 秀人	小倉 一郎	大西 堅太郎
大西 裕	片山 慶泰	榊野 英一	門 脇 明	川嶋 浩二郎
神谷 惠三	學田 爲博	小島 清次	上妻 五郎	小南 尙義
小南 順彦	是兼 輝幸	胡 式 林	榊原 政行	澤田 清彦
櫻井 尙	佐藤 悅郎	佐野 一郎	重松 英達	志水 達夫
清水 川一郎	所司 政一	高岸 健一郎	竹本 昇一	立花 卯一郎
谷口 富夫	田中 秀夫	辻田 喜市	徳川 脩	富田 千秋
戸谷 新一郎	長生 誠一	中川 盛次	永田 一夫	中谷 勤
中野 七郎	中村 英人	中村 義正	中村 健治	西村 茂
二宮 五郎	丹羽 太郎	狭田 喜義	島山 貞雄	濱生 大九郎
原田 久光	原 憲三	原 正己	東山 諭	日高 定

○學生及生徒姓名(法文學部)

昭和十七年入學

湯村 武人 長崎 藤田 喜三 鹿兒島 松平 文健 朝鮮 增田 功 豐前 三島 貞夫 大阪
 村谷 正隆 福岡 元野木 慎一 福岡 山本 忠良 東京 矢吹 增太郎 福岡 弓削 爲一 北海道
 吉崎 喜久 佐賀 橫溝 軌一 熊本 吉田 達 千葉 吉田 又一郎 長崎

法學士志望

青木 久男 神奈川 青木 爽範 朝野 淺野 幸四郎 大分 荒木 大 熊本 新井 健之 熊本
 穴山 德夫 山梨 今村 滋 福岡 石澤 義之 栃木 井手 幹隆 佐賀 井本 則隆 熊本
 井上 康男 鳥取 池田 浩一 佐賀 磐村 慶四郎 福岡 浦 茂夫 福岡 上田 清 福岡
 上田 優 福岡 江浦 敏雄 福岡 江崎 時夫 福岡 大塚 順七 鳥取 岡本 登起男 熊本
 岡田 隆 京都 大西 清美 京都 岡嶋 洗 東京 奧山 繁 鹿兒島 小河 精 兵庫
 垣原 郁夫 長崎 柏原 廣 廣島 上谷 和夫 富山 鳳岡 良吉 靜岡 金田 安弘 朝鮮
 加藤 一芳 福岡 加藤 佳次 愛媛 清原 建淑 朝鮮 北林 一光 宮崎 木村 太郎 東京
 北野 壽三郎 福岡 小迫 常美 鹿兒島 串山 八太郎 廣島 補田 太郎 鹿兒島 桑野 一郎 鹿兒島
 黒木 三郎 福岡 酒井 襄 福岡 山藤 壽 鳥取 貞方 重信 福岡 柴田 利邦 福岡
 櫻井 滋泰 福岡 庄野 喜三夫 福岡 色紙 幸義 鹿兒島 下坂 新 東京 鈴山 圭一 佐賀
 調 九内 福岡 澁田 直躬 福岡 莊子 邦雄 宮崎 末本 公彦 廣島 谷山 秀雄 朝鮮
 椎野 博 東京 關口 儀雄 群馬 妹尾 英二 岡山 千田 晴雄 東京 谷山 秀雄 朝鮮
 鈴木 國郎 岐阜

高天 弘房 奈良 高島 保 鹿島 高增 迪 東京 田淵 英男 東京 田中 一 大阪
 田口 通夫 大阪 玉田 幸輔 兵庫 高尾 正男 福岡 田上 峰男 熊本 田中 亮介 熊本
 田中 早苗 鹿兒島 津上 英彌 福岡 津吹 格 東京 津田 達夫 東京 都野 菊次郎 山口
 德義 三男 北海道 富山 國男 沖繩 雞林 永斗 朝鮮 戶田 一彦 愛媛 戶田 和男 山形
 永松 淳 熊本 中尾 崑 佐賀 中村 正信 熊本 中村 尙雄 熊本 長橋 勇一 廣島
 中井 國之 熊本 中村 浩理 福岡 仲井 英雄 大分 鍋田 實 福岡 檜橋 倉太 福岡
 新田 英一 熊本 西村 健一 福岡 西田 孝之 福岡 西野 武朗 靜岡 沼澤 浩一 福岡
 長谷川 啓 福岡 原口 隆 長崎 林 迪 廣島 花村 吉人 長野 花田 一郎 福岡
 濱田 明 福岡 萩原 康治 佐賀 廣田 齊 山形 日高 千文 宮崎 廣渡 政秀 大阪
 藤田 奎吾 福岡 藤本 洋一 熊本 福邑 高彦 大分 藤枝 章 東京 福田 信美 宮崎
 本田 鶴男 長崎 星野 乾一 東京 萬谷 忠夫 廣島 眞岡 克仁 福岡 松原 利男 福岡
 松村 利智 福岡 松本 哲夫 朝野 松原 恒正 佐賀 南島 照 長崎 松原 茂昌 朝野
 松原 弘 東京 三好 誠之 山口 御手洗 文磨 福岡 森本 正美 福岡 宮崎 通 山口
 三重野 利武 大分 森田 信弘 鹿兒島 山口 吉郎 鹿兒島 森崎 晃 大分 吉田 盛次 東京
 森田 信弘 鹿兒島 橫川 重衛 埼玉 渡邊 正純 大阪 渡邊 啓一郎 宮崎 吉田 盛次 東京
 米田 節次郎 廣島

文學士志望

荒卷 敏康 福岡 安積 銳二 兵庫 今村 獻一郎 福岡 飯田 淺夫 兵庫 猪城 博之 福岡
 大野 晉一 愛媛 川中 庄介 靜岡 笠坊 乙彦 廣島 片瀨 仁城 兵庫 國枝 忠雄 富山

○學生及生徒姓名(法文學部)

庄野 潤三 大阪
田中 勉 東京
風呂 嘉博 廣島
村上 寅雄 愛媛
鈴木 正 千葉
竹内 進 福井
松田 正久 愛媛
森 一作 福岡
竹田 正丹 廣島
岳野 彌吉 長崎
増田 清 静岡
山口 和夫 廣島
竹内 春夫 奈良
西高辻 信貞 福岡
三宅 孝之 廣島
八木 毅 大阪
高野 清二 富山
平田 知 山口
宮崎 幸造 佐賀
吉岡 陽之介 福岡

經濟學士志望

安藤 肇 兵庫
石橋 益次郎 福岡
出雲 正明 佐賀
大野 克彦 山口
大濱 茂美 東京
河村 榮 廣島
梶本 正典 廣島
熊谷 滿雄 山口
佐藤 晃一 福井
清水 康弘 長野
新月 寛 大阪
關屋 一郎 岐阜
田中 義雄 大阪
寺井 久美 和歌山
安東 衛 福岡
石井 道郎 東京
今井 詮 東京
大場 順一郎 福岡
奥田 八二 兵庫
河原 繁夫 廣島
神谷 次男 福岡
黒崎 昭 東京
佐伯 正夫 廣島
清水 克己 岐阜
菅野 滿善 東京
竹林 祐吉 熊本
田中 傳 佐賀
豊岡 邦太郎 徳島
赤松 正也 東京
石崎 昌雄 岐阜
梅林 國男 福岡
大谷 孝 島根
王 孝 謙 福岡
加來 實 福岡
菊池 一雄 山口
楠 毅 盛 廣島
澤田 安彦 兵庫
茂田 欣一 福岡
須山 徳二 愛媛
竹崎 敏雄 高知
田中 久夫 埼玉
戸畑 泰輔 福岡
岩崎 友四郎 東京
井上 成一 福岡
江浦 道明 福岡
大植 嗣郎 兵庫
小澤 清助 東京
加藤 敏治 岡山
北島 利教 長崎
小泉 孝 神奈川
嶋田 謙吉 鳥取
白仁 鍊一 東京
鈴木 信 福井
竹田 行雄 熊本
高崎 勉 福岡
友貞 靜夫 山口
岩井 義郎 静岡
池原 稔夫 和歌山
大野 義山 福岡
大村 高久 北海道
河村 隆 福岡
金子 直 高知
岸本 強 岡山
小西 公正 福岡
嶋田 英太郎 大阪
志賀 信和 東京
世良 武 廣島
武田 輝彦 愛媛
手島 和雄 大分
中村 英雄 廣島

中村 弘道 廣島
中橋 興 福岡
西岡 豊之助 高知
林田 八郎 福岡
藤本 玄一 千葉
松本 宣郎 岡山
三笠 健一 福岡
村田 文雄 廣島
山本 浩 東京
吉武 淑郎 大分
川端 信明 埼玉
中村 保男 佐賀
中内 通明 高知
乗光 博 大阪
蓮尾 明 福岡
古江 純 福岡
松村 辰夫 石川
三宅 邦彦 山口
森田 明比古 鳥取
山戸 省三 廣島
吉岡 徹治 埼玉
中村 平之助 長野
永田 定七 兵庫
橋本 正行 和歌山
平塚 新 島根
古野 秀夫 福岡
古下 英男 福岡
松本 昌夫 香川
肥田 景朝 宮崎
古川 吉夫 福岡
松井 春雄 大阪
宮崎 光幸 福岡
元岡 正嘉 熊本
安室 宏一 神奈川
渡邊 敏 福岡
中山 泰 福岡
永野 元義 大阪
橋本 昌夫 香川
肥田 景朝 宮崎
古川 吉夫 福岡
松井 春雄 大阪
宮崎 光幸 福岡
元岡 正嘉 熊本
安室 宏一 神奈川
渡邊 敏 福岡
中山 秀三 高知
永吉 凱 大分
橋本 信彦 東京
藤 喜久雄 大分
古屋 莊式 福岡
牧 宏 福岡
宮島 一郎 岡山
山本 義明 福岡
彌吉 博道 福岡
和田 豊 東京

昭和十七年入學外國學生

魏 融 中華民國 パヨン・シュティクル 泰國 曲有成 中國

昭和十二年入學選科生

北野 裕一郎 大分

昭和十四年入學選科生

大田 フサエ 山口 林 清 大阪

○學生及生徒姓名(法文學部)

昭和十五年入學選科生

長谷川喜博 福岡

昭和十六年入學選科生

瀨里廣明 福岡

千葉久雄 廣島

宮地謙三 長崎

和田辨 福岡

昭和十七年入學選科生

小野原順一 鹿兒島

第六 理學部學生

昭和十四年入學

物理學科

近澤龍雄 熊本

昭和十五年入學

物理學科

安藤昌夫 福岡

井上 穆 愛媛

小野 周 山口

工藤國男 新潟

團野 浩文 香川

土橋脩三 東京

西見幸生 福岡

濱野知之 岡山

半谷高潔 福岡

平岡 俊雄 香川

堀岡政雄 富山

水谷政夫 東京

矢野 巍 福岡

吉田秋登 熊本

化學科

麻壁四郎 大阪

家吉 實 山口

井ノ口正典 大分

岡崎道夫 岐阜

太田健男 長野

芝山知彦 大阪

島 努 香川

庄司 弘 宮城

新名 實 鹿兒島

馬場智三郎 佐賀

福井三郎 岡山

藤田 保 廣島

藤本 健 山口

吉野 持 大阪

地質學科

相羽 淑 栃木

久綱正典 兵庫

昭和十六年入學

物理學科

高良和武 鹿兒島

佐藤隆夫 宮城

園田 久 大分

田中友安 東京

藤條泰磨 山形

長野典生 福岡

林 良治 群馬

藤牧友美 長野

松倉保夫 富山

吉武溫三 山口

渡邊貫太郎 島根

化學科

井戸垣正俊 鳥取

井上國平 東京

川原 陸郎 大分

木下多喜夫 福岡

竹内潤二 富山

爲頼雄司 福岡

中石義勝

永井 英夫 熊本

西岡秀夫 佐賀

福島 仁志 長野

地質學科

○學生及生徒姓名(理學部)

石橋明弘 福岡
山下利助 福岡

大羽八郎 宮崎

沖

亨鹿見島

金尾直敬 福岡

(轉) 越後眞一 大阪

昭和十七年入學

物理學科

井上謙藏 東京 今村元 熊本 上田幾彦 福岡 梅澤嘉文 福岡 江口鐵男 佐賀
大橋啓吾 岡山 木下勝 熊本 後藤芳雄 山梨 佐藤英夫 鹿兒島 澁谷元一 東京
築地整 香川 辻幹男 大阪 前田嘉一 鹿兒島 橫田昌廣 福岡 渡邊達也 山口

化學科

泉屋信夫 東京 稻葉安養子 大阪 梅本德美 山口 奧苑清 福岡 尾上康治 山口
平田正 福岡 廣和衛 山口 田中正之助 鹿兒島 林渭川 臺灣

地質學科

小野 咲 香川 清水勇 福岡 筒井宗忠 富山 內藤源太郎 山口 福井正虎 岡山

數學科

大橋三郎 東京 笠井一郎 三重 角野晃二 愛媛 (元藤井) 田中聰男 福岡

第七專攻生

醫學部ニ屬スル事項ヲ攻究スル者

病理學一般
腦還元性物質ニ關スル研究
脊髓脊柱脊筋ニ關スル研究
運動器系統ノ病理
特發性脱疽
外科的領域ニ於ケル病理學研究
內科學一般
眼科學一般
產婦人科領域ニ必要ナル胎生學及ビ解剖學ニ就テ
小兒科學一般
藥理學
外科學一般
腸寄生蟲一般
皮膚科學泌尿器科學一般
小兒科
外科ニ關スル細菌學的研究

醫學博士 林田政幸 福岡
醫學博士 圓山廣俊 東京
醫學博士 新藤省三 東京
醫學博士 神中茂正 兵庫
醫學博士 村尾信俊 福岡
醫學博士 福井俊一 大阪
陳 閱 明 中華民國
隋 仁 增 中華民國
相 浦 勝 福岡
高 葆 謙 中華民國
田 中 弘 道 島根
王 伯 駿 中華民國
古 賀 元 晁 福岡
劉 典 文 中華民國
陳 竹 泉 中華民國
(元古寺) 赤尾捷彦 大分

○學生及生徒姓名(專攻生)

